

# 平成26年度事業報告書

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

## 総 括 的 概 要

平成26年度のわが国経済は、「大胆な金融政策」・「機動的な財政政策」・「民間投資を喚起する成長戦略」のアベノミクス「3本の矢」の一体的推進により、穏やかではあるが回復基調が続いているものの、個人消費等に弱さがみられマイナス成長であった。

北海道経済においても、設備投資、観光関連などが底堅く推移し、持ち直しの動きがあるものの、中小企業や地域においては、十分に回復を実感するまでには至らなかった。

こうした状況下にあって、当商工会議所は商工会議所に課せられた責務を銘記し、関係機関・団体との連携を密にし、当面する景気対策はもとより、地域経済の再生・振興、社会資本の整備等への対応についての要望等、各般にわたる施策の展開を強く求めるとともに、商工会議所の重点事業である小規模企業振興対策は小規模企業者の経営基盤の強化と健全な発展に資するため、各種事業の推進に努めた。

# 事 項 別 状 況

## 1. 定 款 及 び 規 約 等

### (1) 定 款

本年度は定款の変更は行わなかった。

### (2) 規 約

平成27年3月24日開催第91回通常議員総会にて、給与規程の一部改正を行った。

・給与規程第5条（別表1 扶養手当）並びに第6条（別表2 旅費）の一部を改正。

## 2. 組 織

### (1) 会 員

#### A 会 員 数

区 分	前年度末 会 員 数	新 規 加 入 者 数	脱 会 者 数 (廃業による)	年 度 末 会 員 数
個 人	275	6	4	277
法 人	258	1	8	251
合 計	533	7	12	528

#### 会 費 負 担 口 数 別 会 員 数

口 数	会 員 数	口 数	会 員 数	口 数	会 員 数
1 口	213	8 口	6	23 口	1
2 口	57	10 口	12	25 口	1
3 口	148	12 口	2	30 口	7
4 口	13	13 口	1	35 口	1
5 口	45	15 口	3	50 口	1
6 口	5	18 口	2		
7 口	7	20 口	3		

(議員の選挙は会費1口に付1票、但し、1会員最高50票を限度とする。)

B 部 会

部 会 名	所 属 業 種	所 属 部 会 員 数
商 業 部 会	卸売業、各種商品小売業、織物・衣服身の回り小売、飲食料品小売、自動車等小売、家具・じゅう器家庭器具小売、その他小売	152
建 設 業 部 会	総合建設業、職別工事業、設備工事業	83
工 業 部 会	製造業全般、運輸・通信業	91
環 境 衛 生 部 会	飲食店、サービス業（洗濯・理美容業・浴場・旅館業）	95
庶 業 部 会	農業、林業、金融保険業、不動産業 サービス業（*環境衛生部会のサービス業以外）	107

C 委 員 会

委 員 会 名	委 員 数	主 な 審 議 事 項
商 工 業 振 興 委 員 会	15	地域商工業の振興・育成、その他中小企業の振興対策についての事項
観 光 振 興 委 員 会	14	観光産業の育成、観光客誘致対策等に関する事項
総 務 委 員 会	15	本所の基本的運営並びに他委員会に属せざる事項
小 企 業 等 経 営 改 善 資 金 審 査 会	5	小企業等経営改善資金貸付に係る審査

(2) 特 定 商 工 業 者

区 分	特 定 商 工 業 者	内 訳	
		会 員 数	非 会 員 数
法 人	296	230	66 (50)
計	296	230	66 (50)

( ) は非会員中、負担金を納入している数

(3) 役員

A 平成27年3月31日現在の各役員の定数及び実数

区分	定数	実数	備考
会 頭	1	1	
副 会 頭	2	2	
専 務 理 事	1	0	
常 議 員	13	13	
監 事	2	2	

B 平成27年3月31日現在の役員の氏名、企業の名称及び企業上の地位、企業の業種

役 名	氏 名	企 業 の 名 称 及 び 企 業 上 の 地 位	企 業 の 種 類
会 頭	若 林 輝 彦	(有) か つ や 社 長	薬 局
副 会 頭	山 本 和 則	(株) ダ イ イ チ 会 長	建 設 売
〃	久 山 邦 徳	(株) 久 山 商 店 社 長	文 具 販 売
専 務 理 事			
常 議 員	後 藤 哲 也	(株) 三 共 後 藤 建 設 社 長	建 設 売
〃	永 澤 則 次	(株) な が さ わ 社 長	食 品 販 売
〃	横 山 喜 義	(株) 四 ツ 輪 工 業 社 長	管 工 事
〃	古 館 繁 夫	(有) 古 館 板 金 工 業 所 所 長	板 金 売
〃	長 岡 敬 幸	(有) マ リ モ 社 長	洋 品 販 売
〃	宮 田 博 行	(株) 宮 田 建 設 社 長	建 設 売
〃	大 西 均	(有) 大 西 燃 料 店 社 長	燃 料 販 売
〃	菅 原 雅 之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所 所 長	税 理 士
〃	中 川 寿 一	三 星 運 輸 (株) 社 長	運 輸
〃	田 村 博 昭	美 幌 貨 物 自 動 車(株) 社 長	運 輸
〃	福 田 孝 俊	(有) ふ く だ 社 長	飲 食 業
〃	吉 江 仁	網走信用金庫美幌支店 支 店 長	金 融
〃	石 田 裕 一	クレードル食品(株) 専 務	食 品 加 工
監 事	石 澤 信 勝	(株) 電 建 会 長	電 気 工 事
〃	松 田 寿 夫	松 田 部 品 (株) 社 長	自 動 車 部 品

(4) 議員

A 平成27年3月31日現在の各議員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数	備 考
1 号 議 員	25	25	
2 号 議 員	15	15	
3 号 議 員	7	7	
合 計	47	47	

B 平成27年3月31日現在の議員の氏名、企業の名称及び企業上の地位企業の業種

氏名	企業の名称及び企業上の地位	企業の業種	備考
1号議員			
有岡 康 則	(株) 有岡木材店 社長	建 材 卸	
猪本 美 行	(有) 猪本製作所 社長	家具・建具製造	
上西 恵	(株) ウエニシ 社長	青果物移出	
大井 正 行	(株) 大井機販 社長	農機具販売	
大西 均	(有) 大西燃料店 社長	燃 料 販 売	
大野 江 二	大野種苗生産販売(株) 社長	種 苗	
高橋 清 文	(株) オホーツク設備 社長	管 工 事	
松浦 和 浩	デ ュ ー ス 代表	仲 介 業	
大野 秀 樹	(株) 後楽園 社長	レジャー施設	
山中 敏 文	(有) さんけん 社長	建 築 工 事	
池 功 司	(有)シルバーサポートノア 社長	福 祉 介 護	
鈴木 将 晋	(有) スズキ電器 社長	家 電 販 売	
森 英 樹	(株) 寿しの竹ちゃん 社長	飲 食 業	
種田 善 夫	(有) 種田工務店 社長	建 築	
中村 仁 郎	(有) 中村商店 社長	米 穀 燃 料	
早田 眞 二	(有) 早田写真店 社長	写 真 業	
福谷 和 夫	(有)美幌花園ふくや 社長	生 花 業	
加藤 秀 二	(株)美幌マイカーセンター 社長	車 輛 販 売	
広岡 昭 雄	(有) ひろおか 社長	衣 料 品 販 売	
福田 孝 俊	(有) ふくだ 社長	飲 食 業	
古舘 繁 夫	(有)古舘板金工業所 所長	板 金	
小形 明	(株)ベストミント美幌店 社長	損 害 保 険	
乙武 俊 広	(有) 北新電設 社長	電 気 工 事	
味噌 一 郎	(同)味噌精肉店 社長	精 肉 卸 小 売	
横山 喜 義	(株) 四ッ輪工業 社長	管 工 事	

2号議員			
永澤則次	(株) ながさわ	社長	食品販売
長岡敬幸	(有) マリモ	社長	洋品販売
前田祐輔	(有) 前田商店	社長	金物販売
若林輝彦	(有) かつや	社長	薬局
久山邦徳	(株) 久山商店	社長	文具販売
山本和則	(株) ダイイチ	会長	建設
宮田博行	(株) 宮田建設	社長	建設
田村博昭	美幌貨物自動車(株)	社長	運輸
石田裕一	クレードル食品(株)	専務	食品製造
蓮井博文	(株) 蓮井鉄工所	社長	鉄骨工事
横山直樹	(株) 横山土建	社長	コンクリート製造
三坂重弘	青葉荘	代表	旅館
林真男	(有) こうりん	社長	葬祭業
松浦章	北見信用金庫美幌支店	支店長	金融
菅原雅之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所	所長	税理士
3号議員			
吉江仁	網走信用金庫美幌支店	支店長	金融
後藤哲也	(株) 三共後藤建設	社長	建設
中川寿一	三星運輸(株)	社長	運輸
大沼剛	聖太建設(株)	社長	建設
田村栄治	(株) 田村精肉店	社長	精肉卸小売
鈴木良幸	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所	所長	製糖
橋一幸	(株) 北洋銀行美幌支店	支店長	金融
商業部会			
建設部会			
工業部会			
環境衛生部会			
庶業部会			

(5) 部 会 長 等 (平成27年3月31日現在)

- 商業部会
  - 部 会 長 長 岡 敬 幸 (有) マ リ モ 社 長
  - 副 部 会 長 久 山 邦 徳 (株) 久 山 商 店 社 長
  - 副 部 会 長 前 田 祐 輔 (有) 前 田 商 店 社 長
  
- 建設業部会
  - 部 会 長 後 藤 哲 也 (株) 三 共 後 藤 建 設 社 長
  - 副 部 会 長 古 舘 繁 夫 (有) 古 舘 板 金 工 業 所 所 長
  - 副 部 会 長 猪 本 美 行 (有) 猪 本 製 作 所 社 長
  
- 工業部会
  - 部 会 長 石 田 裕 一 ク レ ー ド ル 食 品 (株) 専 務
  - 副 部 会 長 蓮 井 博 文 (株) 蓮 井 鉄 工 所 社 長
  - 副 部 会 長 横 山 直 樹 (株) 横 山 土 建 社 長
  
- 環境衛生部会
  - 部 会 長 福 田 孝 俊 (有) ふ く だ 社 長
  - 副 部 会 長 三 坂 重 弘 青 葉 荘 代 表
  - 副 部 会 長 大 野 秀 樹 (株) 後 楽 園 社 長
  
- 庶業部会
  - 部 会 長 吉 江 仁 網 走 信 用 金 庫 美 幌 支 店 支 店 長
  - 副 部 会 長 菅 原 雅 之 オ ホ ー ツ ク ネ ク ス ト 美 幌 菅 原 事 務 所 所 長
  - 副 部 会 長 池 功 司 (有) シ ル バ ー サ ポ ー ト ノ ア 社 長

(6) 委員会等(平成27年3月31日現在)

商工業振興委員会(15名)				
委員長	長岡敬幸	(有)	マリモ	社長
副委員長	宮田博行	(株)	宮田建設	社長
委員	鈴木将晋	(有)	スズキ電器	社長
委員	石田裕一	(株)	クレードル食品	専務
委員	田村博昭	(株)	美幌貨物自動車	社長
委員	猪本美行	(有)	猪本製作所	社長
委員	大沼剛	(株)	聖太建設	社長
委員	乙武俊広	(有)	北新電設	社長
委員	田村栄治	(株)	田村精肉店	社長
委員	種田善夫	(有)	種田工務店	社長
委員	高橋清文	(株)	オホーソク設備	社長
委員	前田祐輔	(有)	前田商店	社長
委員	山中敏文	(有)	さんけん社	社長
委員	早田眞二	(有)	早田写真店	社長
委員	福谷和夫	(有)	美幌花園ふくや	社長

観光振興委員会(14名)				
委員長	横山喜義	(株)	四ッ輪工業	社長
副委員長	福田孝俊	(有)	ふくだ	社長
委員	池功司	(有)	シルバーサポート	社長
委員	永澤則次	(株)	ながさわ	社長
委員	中川寿一	(株)	三星運輸	社長
委員	上西恵	(株)	ウエニシ	社長
委員	大井正行	(株)	大井機販	社長
委員	大野江二	(株)	大野種苗生産販売	社長
委員	大野秀樹	(株)	後楽園	社長
委員	加藤秀二	(株)	美幌マイカーセンター	社長
委員	林真男	(有)	こうりん	社長
委員	三坂重弘	(青)	葉荘	代表
委員	味噌一郎	(同)	味噌精肉店	社長
委員	森英樹	(株)	寿しの竹ちゃん	社長



総務委員会（15名）				
委員長	後藤哲也	(株)三共後藤建設社長		
副委員長	菅原雅之	オホーツクネクスト美幌菅原事務所 所長		
委員	橋一幸	(株)北洋銀行美幌支店 支店長		
委員	大西均	(有)大西燃料店 社長		
委員	古舘繁夫	(有)古舘板金工業所 所長		
委員	吉江仁	網走信用金庫美幌支店 支店長		
委員	有岡康則	(株)有岡木材店 社長		
委員	鈴木良幸	日本甜菜製糖(株)美幌製糖所 所長		
委員	小形明	(株)ベストミント美幌店 社長		
委員	中村仁郎	(有)中村商店 社長		
委員	蓮井博文	(株)蓮井鉄工所 社長		
委員	広岡昭雄	(有)ひろおか 社長		
委員	松浦章	北見信用金庫美幌支店 支店長		
委員	松浦和浩	デユース 代表		
委員	横山直樹	(株)横山土建 社長		

(7) 顧問

土谷耕治	美幌町長
古舘繁夫	美幌町議会議長
野村昌二	美幌駐屯地司令
江川清人	美幌警察署長

(8) 参与

横山正造	前副会頭
中村昭士	前監事
有岡貞雄	前監事

### 3. 選挙及び選任

(1) 議員

本年度は1号議員の選挙は行わなかった。

(2) 役員

平成26年6月23日開催第90回通常議員総会において、網走信用金庫美幌支店支店長 吉江 仁氏を常議員に選任する。

平成26年12月6日開催第93回臨時議員総会において、クレードル食品(株)専務 石田裕一氏を常議員に選任する。

#### 4. 事 務 局

##### (1) 事務局の構成

事 務 局	部 課 名	所 属 事 務	職 員 数
	総 務 課	庶務、会計、経理、会館管理、行事、調査、広報、 美幌峠売店管理	5
	指 導 課	小規模事業指導業務、青色申告会及び法人会育成 労働保険事務組合	4

##### (2) 事務局職員

###### A 職員の職務及び氏名

事務局次長（経営指導員）	横 山 清 美
経営指導員（指導課長）	深 田 裕 二
〃	河 野 聡
補助員	伊 藤 健 一

###### B 職員の数

区分	専任職員	経営指導員	補助員	記帳専任職員	備人	計
男		3	1		1	5
女	1				3	4
計	1	3	1		4	9

#### 5. 庶 務

##### (1) 文 書

( ) はファクシミリ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
受 信	255 (222)	255 (274)	375 (256)	240 (289)	244 (228)	245 (247)
発 信	182 (484)	952 (529)	484 (766)	516 (573)	523 (614)	674 (505)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
238 (317)	242 (243)	260 (195)	218 (206)	217 (219)	283 (269)	3,082 (2,965)
449 (634)	745 (700)	329 (590)	992 (745)	299 (610)	328 (497)	6,473 (7,247)

##### (2) 表彰・受賞

###### A 表 彰

◎美幌商工会議所商工従業員表彰式（表彰年月日 平成26年11月20日）

・特別表彰者（50年以上）	(株)横山土建	上野兼司	
・特別表彰者（35年以上）	(有)花月	岩渕博光	他 4名
・特別表彰者（30年以上）	(株)横山土建	田子清次	
・勤続25年以上	(有)ミキ美容室	能戸澄恵	他 6名
・勤続20年以上	(株)ビホロサッシ工業	鎌田一也	他 3名
・勤続15年以上	(有)エヌ・ケイ農機	辻村克己	他 10名
・勤続10年以上	(有)前田商店	新津靖行	他 2名
・勤続5年以上	三星運輸(株)	河岸秀和	他 4名

## B 受賞

### ◎北海道商工会議所連合会表彰

受賞年月日 平成26年6月28日

表彰規程第3条該当

勤続20年	副会頭	久山邦徳
勤続15年	議員	猪本美行
勤続15年	議員	鈴木将晋
勤続15年	議員	田村栄治

表彰規程第5条該当

勤続35年	指導課長	深田裕二
勤続25年	経営指導員	河野聡

### (3) 慶弔その他

関係機関及びその他の式典等に祝辞及び祝意を表し、会員等の不幸には弔慰を表した。また、関係団体の転退任に際しては歓送迎会の主催等を行った。

4月20日	美幌駐屯地創立63周年
9月27日	101特科大隊創隊60周年
9月28日	美幌神社110年記念式典
10月16日	第5旅団副旅団長歓迎会
10月28日	元専務理事細川清氏告別式
11月5日	第5旅団長歓迎会
11月19日	釧路商工会議所創立90周年
2月20日	ハーモニーの会
3月17日	安全安心を語る会

## 6. 会議

### (1) 議員総会

#### A 通常議員総会

##### ◎第90回通常議員総会

- ・日時 平成26年6月23日
- ・会場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中45名（内委任状行使者数11名）、監事 2名  
専務理事他事務局員 4名

#### 議 題

##### 決議事項

第1号議案	平成25年度美幌商工会議所事業報告について
第2号議案	平成25年度美幌商工会議所一般会計収支決算報告について
第3号議案	平成25年度中小企業相談所特別会計収支決算報告について

- 第4号議案 平成25年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支決算報告について
- 第5号議案 平成25年度役職員退職給与金特別会計収支決算報告について
- 第6号議案 平成25年度財政調整積立金特別会計収支決算報告について
- 第7号議案 貸借対照表並びに財産目録について
- 第8号議案 びほろ納涼花火大会特別会計収支決算報告について
- 第9号議案 買い物宅配・便利サービス事業特別会計収支決算報告について
- 第10号議案 創立60周年記念特別会計収支決算報告について
- 第11号議案 特別委員会の設置について
- 第12号議案 常議員の補欠選任について

報告事項

- 1 第2回びほろ夏まつり開催について

◎第91回通常議員総会

- ・日時 平成27年3月24日
- ・会場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中44名（内委任状行使者数11名）、監事2名  
事務局員 4名

議題

決議事項

- 第1号議案 給与規程の一部改正について
- 第2号議案 平成27年度事業計画案について
- 第3号議案 平成27年度会員会費1口の金額及び納付について
- 第4号議案 平成27年度一般会計収支予算案について
- 第5号議案 平成27年度中小企業相談所特別会計収支予算案について
- 第6号議案 平成27年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支予算案について
- 第7号議案 平成27年度役職員退職給与金特別会計収支予算案について
- 第8号議案 平成27年度財政調整積立金特別会計収支予算案について
- 第9号議案 平成276年度一時借入金限度額について
- 第10号議案 びほろ夏まつり特別会計収支予算案について

報告事項

- 1 平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト事業について

B 第93回臨時議員総会

- ・日時 平成26年12月6日
- ・会場 美幌経済センター
- ・出席議員 議員定数47名中42名（内委任状行使者数14名）

議題

報告事項

- 1 平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト事業について
- 2 HAC株の譲渡について
- 3 会員増強依頼について
- 4 新年交礼パーティー実施について
- 5 専務理事辞任に関する件

決議事項

- 第1号議案 常議員の補充選任について
- 第2号議案 平成26年度中小企業相談所特別会計収支予算更正について

C 議員懇談会

- ・日 時 平成26年6月23日
- ・場 所 肉の割烹田村
- ・懇談内容 商工会議所運営について

(2) 常 議 員 会

◎第324回常議員会

- ・日 時 平成26年6月23日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 14名

議 題

協 議 事 項

- 第1号議案 平成25年度美幌商工会議所事業報告について
- 第2号議案 平成25年度一般会計収支決算報告について
- 第3号議案 平成25年度中小企業相談所特別会計収支決算報告について
- 第4号議案 平成25年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支決算報告について
- 第5号議案 平成25年度役職員退職給与金特別会計収支決算報告について
- 第6号議案 平成25年度財政調整積立金特別会計収支決算報告について
- 第7号議案 貸借対照表並びに財産目録について
- 第8号議案 びほろ納涼花火大会特別会計収支決算報告について
- 第9号議案 買い物宅配・便利サービス事業特別会計収支決算報告について
- 第10号議案 創立60周年記念特別会計収支決算報告について

◎第325回常議員会

- ・日 時 平成26年12月6日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 15名

議 題

報 告 事 項

- 1 平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト事業について
- 2 HAC株の譲渡について
- 3 会員増強依頼について
- 4 新年交礼パーティー実施について
- 5 専務理事辞任に関する件

決 議 事 項

- 第1号議案 常議員の補充選任について
- 第2号議案 平成26年度中小企業相談所特別会計収支予算更正について

◎第326回常議員会

- ・日 時 平成27年3月24日
- ・会 場 美幌経済センター
- ・出席役員 14名

議 題

協 議 事 項

- 第1号議案 給与規程の一部改正について
- 第2号議案 平成27年度事業計画案について
- 第3号議案 平成27年度会員会費1口の金額及び納付について

- 第4号議案 平成27年度一般会計収支予算案について  
 第5号議案 平成27年度中小企業相談所特別会計収支予算案について  
 第6号議案 平成27年度美幌峠レストハウス運営特別会計収支予算案について  
 第7号議案 平成27年度役職員退職給与金特別会計収支予算案について  
 第8号議案 平成27年度財政調整積立金特別会計収支予算案について  
 第9号議案 平成27年度一時借入金限度額について  
 第10号議案 びほろ夏まつり特別会計収支予算案について
- 決議事項  
 第1号議案 東北北海道商工会議所連絡協議会提出案件について
- 報告事項  
 1 平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト事業について

(3) 監査会

- ・日時 平成26年6月17日
- ・場所 美幌経済センター
- ・出席者 定数 2名 出席者数 2名

(4) 部会

部会名	年月日	議題
商業部会	26.10.30	1. 経営セミナー開催支援 2. 部会活動について
建設業部会	26.10.24	1. 経営セミナー開催支援 2. 部会活動について
工業部会	26.10.24	1. 経営セミナー開催支援 2. 部会活動について
環境衛生部会	26.10.30	1. 経営セミナー開催支援 2. 部会活動について
庶業部会	26.10.30	1. 経営セミナー開催支援 2. 部会活動について

(5) 委員会

委員会名	年月日	出席者	議題
商工業振興委員会	26.5.28	6	1. 町議会経済建設常任委員会との意見交換 2. 宅配・便利サービス事業運営協議会設立
	26.12.4	11	1. 平成27年度美幌町に対する要望事項
	27.3.9	11	1. 平成27年度事業計画について 2. 東北北海道連絡協議会要望事項について
観光振興委員会	26.12.4	9	1. 平成27年度美幌町に対する要望事項
	27.3.10	8	1. 平成27年度事業計画について 2. 東北北海道連絡協議会要望事項について

総務委員会	26. 6. 4	9	1. 委員会活動について
	26. 6. 12	9	1. 特別委員会の設置について
	26.12. 3	10	1. 平成27年度美幌町に対する要望事項
	27. 3. 9	9	1. 平成27年度事業計画について 2. 東北北海道連絡協議会要望事項について 3. 各種規程の改正について
小企業等経営改善資金審査会	26.12.11	4	審査件数 3件
	27.1.23	4	審査件数 2件
	27.3.25	4	審査件数 1件
			計 6件

(6) その他の会議

会議名	年月日	出席者	議 題
正副会頭会議	26. 4. 30	6	1. 第94回東北北海道商工会議所連絡協議会参加 2. 事業の進捗状況について
	26. 5. 26	8	1. 常議員会並びに通常議員総会日程調整 2. 美幌町との懇談会日程について 3. 分野別懇談会開催日程について 4. 町議会経済建設常任委員会との意見交換会 5. 常議員並びにマルケイ審査委員の補充
	26. 6. 18	7	1. 常議員会並びに通常議員総会に附議する件 2. 全道商工会議所大会参加について 3. 会議等参加状況について
	26. 7. 31	6	1. 北海道・東北連絡会議参加について 2. びほろ夏まつり開催について 3. 分野別懇談会開催日程について 4. 事業の進捗状況について
	26. 9. 8	7	1. 分野別懇談会開催について 2. 事業の進捗状況について
	26. 10. 23	8	1. 従業員表彰式挙行について 2. 新年交礼パーティーについて
	26. 11. 10	6	1. (同) びほろ笑顔プロジェクトについて 2. 従業員表彰式挙行について
	26. 12. 3	8	1. 常議員会並びに臨時議員総会に附議する件 2. 美幌町との懇談について
	27. 2. 20	7	1. 常議員会並びに通常議員総会日程調整 2. 常設委員会の日程調整 3. オホーツク地域包括連携協定について 4. 経営発達支援計画認定申請について
	27. 3. 18	5	1. 常議員会並びに通常議員総会に附議する件
美幌町観光推進連絡会議	26. 4. 22	13	1. 美幌町観光振興計画について 2. 今後の進め方について
	26. 5. 29	13	1. 交流人口について
	26. 6. 30	13	1. 交流人口拡大プロジェクト 2. 地域の魅力づくり
	26. 7. 29	9	1. 観光推進27年度(案)について

美幌町 観光物産協会 商工会議所 にて構成	26. 9. 1	1 0	1. 管内道の駅視察研修
	26. 10. 14	9	1. 観光振興についての提言
	26. 11. 25	1 3	1. 平成 27 年度要望事項について
美幌まちづくり 若者クラブ (びほろ愛し隊)	26. 6. 26		1. 特別委員会の主旨 2. 美幌町総合計画策定について
	26. 7. 23		1. 「びほろみらいのまちづくり会議」公募に対する推薦者について 2. アンケート調査結果について
	26. 9. 19		1. 美幌の良い所、悪い所グループディスカッション
	26. 10. 14		1. 今後のクラブの進め方、在り方
	26. 11. 13		1. クラブの名称（愛称）検討 2. 美幌にある良い所
	27. 1. 9		1. 『びほろ』みらいまちづくり会議 参加報告 2. 発信について
	27. 2. 10		1. 『びほろ』みらいまちづくり会議 参加報告 2. 発信について 3. 「美幌町総合計画シンポジウム」参加について
	27. 2. 24		1. 『びほろ』みらいまちづくり会議 部会別協議 テーマの検討
27. 3. 9		1. 『びほろ』みらいまちづくり会議 部会別協議 テーマの検討	

◎各分野リーダー別懇談会

日 時 平成 26 年 9 月 9 日  
出 席 美幌町長・副町長  
美幌町議会議長・副議長  
美幌町農業協同組合長・専務・参事  
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事

◎美幌町との懇談会

日 時 平成 26 年 12 月 4 日  
場 所 美幌町民会館 第 2 ホール  
出 席 者 美幌町長・副町長・教育長・各部長  
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事・各常設委員会委員長

◎美幌町議会経済建設常任委員会との懇談会

日 時 平成 26 年 6 月 2 日（月）午後 3 時より  
場 所 美幌経済センター 役員室  
出 席 者 美幌町議会経済建設常任委員会 5 名、議長、議会事務局 2 名  
美幌商工会議所会頭・副会頭・専務理事・各常設委員会委員長

◎職 員 例 会（毎月 1 回開催）



## 7. 事 業

### (1) 各種事業活動

#### ①観光事業

イ 美幌峠に所有する展望休憩室(指定管理者)・売店を観光客に対し利便を与えた。

ロ 美幌峠イベント実施支援について

- ・日時 平成26年8月16日(土) 18:00~20:00  
内容 美幌峠ビア・パーティー ~素敵なた焼け・綺麗な星空~
- ・日時 平成26年10月25日  
内容 感動!! 美幌峠の朝焼け ~早起きは三文の得!??~

#### ②中心市街地活性化事業の実施

イ ポイントカードシステム事業「協同組合スマッピーカードびほろ」事務支援

ロ 空き店舗活用事業 空き店舗対策補助 5店舗  
(Wonder、デザイン工房バード、フレンチ・ガラス、魚源、メガネの比良坂)

ハ びほろ町内消費拡大セール事業

美幌町連合商店会・協同組合スマッピーカードびほろ・美幌商工会議所の3団体で、消費拡大による美幌町内の経済活性化を目的に「びほろ町内消費拡大セール」を実施。

##### 1) 事業内容

・「プレミアム付プリペイドカードチャージ事業」パート1

日 時 6月7日(土) 午前10時~午後3時

会 場 しゃきっとプラザ「集団検診ホール」

内 容 ①10,000円をスマッピーカードにプリペイドチャージする際に、1,300名限定で3,000円のプレミアムを加算。

②18歳以上30歳以下の方(昭和59年4月2日~平成8年4月1日生)

③「中学生以下の子供を養育している方」(平成12年4月1日以降生)

上記②③の方に対しては10,000円をプリペイドチャージする際200名限定で5,000円のプレミアムを加算。

・「プレミアム付プリペイドカードチャージ事業」パート2

日 時 2月7日(土) 午前10時~午後3時

会 場 しゃきっとプラザ「集団検診ホール」

内 容 ①10,000円をスマッピーカードにプリペイドチャージする際に、750名限定で3,000円のプレミアムを加算。

②18歳以上30歳以下の方(昭和59年4月2日~平成8年4月1日生)

③「中学生以下の子供を養育している方」(平成12年4月1日以降生)

上記②③の方に対しては10,000円をプリペイドチャージする際250名限定で5,000円のプレミアムを加算。

・プリペイド利用促進イベント

期 間 平成26年8月5日~8月31日

内 容 スマッピーカードを所持された方限定。

会計の際に現金500円支払いで補助券1枚、プリペイドで500円支払いで補助券2枚進呈し、補助券10枚で1本抽選、お米5kgを進呈する。

ニ 協同組合スマッピーカードびほろ年末年始大売出しの支援

売出期間 平成26年11月17日~平成27年1月2日

抽 選 会 平成27年1月2日 美幌経済センターにて実施

参加店 スマッピーカードびほろ加盟店及び美幌町連合商店会協力店  
 内容 福袋、商品券、商店賞等の贈呈。

③平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト調査研究事業

事業名：豚一頭を知りつくし・食べつくし・利用しつくすシステム構築事業

1) 事業の目的・内容

<目的>

美幌産豚肉の流通経路を確認しながら、さらに付加価値をつけて提供するための出口部分として、どういった市場があるかを調査する。また、豚醬に使う以外の部位を活用した特産品開発や他の商品と豚肉を組み合わせた商品開発を行い、「豚肉がおいしい町」としての美幌の相乗効果を高めるための取組みの方向性、商品開発の可能性等を調査研究する。

<事業内容>

- ①美幌産豚肉の流通経路の確認
- ②付加価値をつけて提供するための市場調査
- ③部位ごとによる特産品・料理の調査
- ④「豚肉がおいしい町」としての相乗効果を高める商品開発の調査
- ⑤情報発信方法の検討

2) びほろ豚肉ネットワーク委員

役職・区分	氏名	所属/役職
委員長	久山邦徳	美幌商工会議所/副会頭
委員	福田孝俊	美幌食堂組合/代表
〃	三浦隆雄	美幌高校/教諭
〃	美幌高校 地域資源マテリアル班	美幌高校生徒(細川源産ほか12名)
〃	大友真佐美	びほろ笑顔プロジェクト/食品衛生管理者
参画事業者	竹下友資	(有)竹下畜産/代表取締役
〃	谷政則	(有)ミートテック/代表取締役
〃	味噌一郎	(同)味噌精肉店/代表社員
〃	今美彦	中華料理 天上天/オーナーシェフ
〃	弥三谷和貴	居酒屋 加賀屋/店長
〃	大野秀樹	美幌ラボラトリー/オーナーシェフ
専門家	宮地義之	(株)日本経済研究所/地域振興部 部長
事務局	佐藤隆	美幌商工会議所/専務理事
〃	横山清美	美幌商工会議所/事務局長
〃	伊藤健一	美幌商工会議所/指導課長補佐

### 3) 委員会の開催

#### 【第1回】

- 日時 平成26年8月27日 19:00～ 美幌経済センター  
内容 ①委員長挨拶並びに委嘱状交付  
②本事業の概要について  
③事業の方向性について (株)日本経済研究所 地域部長 宮地義之 氏  
④実施内容について意見集約

#### 【第2回】

- 日時 平成26年10月14日 18:30～ 美幌経済センター  
内容 ①農林水産省エコフィールド制度概要勉強会  
【講師】北海道農政事務所 北見地域センター  
総括管理官(農政推進) 斎藤 孝 様  
②エコフィールド事業についての意見交換  
③専門家所感 (株)日本経済研究所 地域部長 宮地義之 氏

#### 【第3回】

- 日時 平成26年12月19日 18:30～ 美幌経済センター  
内容 ①これからの取組みについて (株)日本経済研究所 地域部長 宮地義之 氏  
②参考事例紹介 — 養豚を中心とした循環型農業に取り組んでいる事例  
③今後の商品開発について

### 4) 調査実施報告

#### (1) 首都圏レストランとの連携等についてのヒアリング調査

- 調査日時:平成26年7月31日(木) 16:00～21:00  
調査場所:フランス料理店「LAUBURU (ローブリュー)」東京都港区南青山  
シャルキュトリー・コダマ [高島屋新宿店]  
調査報告:事務局 伊藤健一

#### (2) 首都圏における飲食店へのヒアリングと豚関連商品の市場調査

- 調査日時:平成27年1月28日(木) 13:30～20:30  
1月29日(金) 10:00～15:00  
調査場所:①イタリアン料理店「ラ・ストラダ・ディ・カンパーニャ」  
②AKOMEYA・むらからまちから館等アンテナショップ  
③フランス料理店「LAUBURU (ローブリュー)」港区南青山  
④北海道物産展(小田急百貨店新宿店)  
⑤新宿区内百貨店食品売場(京王百貨店・小田急百貨店・高島屋)  
⑥東京駅(地下・KITTE)

調査報告:委員 味噌一郎、今 美彦、弥三谷和貴、事務局 伊藤健一

#### (3) 先進事例視察・ヒアリング並びに首都圏豚肉加工品店等の市場調査

- 調査日時:平成27年2月18日(木) 14:30～20:00  
2月19日(金) 10:00～16:30  
調査場所:①神奈川県厚木市(有)臼井農産  
②豚肉専門店「旨焼 あたり」  
③農林水産省生産局畜産企画課  
④豚肉専門店「豚組」  
⑤豚肉加工品店「フレンチデリカテッセン カミヤ」  
⑥AKOMEYA・むらからまちから館

調査報告:委員 竹下友資、三浦隆雄、事務局 伊藤健一

④平成26年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト本体事業  
事業名：「アスパラの切り下等風味・色・味を活かした加工技術と商品開発」

1. 目的

研究施設と事業者と連携して美幌産のアスパラの調整残渣（切り下）を使用した特産品（加工品）、料理を開発して新たな地域ブランドを創設する。

食を通したまちづくりがより話題性が高まり、観光客を含めた交流人口の増加とともに、話題性を首都圏に広げることにより本町1次産業の振興に寄与していくものである。

2. 事業内容

- (1) 美幌産アスパラの付加価値化
- (2) 調整残渣（切り下）による特産品・料理の開発
- (3) 「アスパラがおいしい町」としての相乗効果を高める商品開発の検討
- (4) 美幌産アスパラに関する情報発信

3. 事業の進め方

- 1) 美幌食品開発特別委員会の設置。

役職・区分	氏名	所属／役職
委員長	後藤 哲也	美幌商工会議所 総務委員長
委員	松浦 和浩	美幌商工会議所 議員
〃	小室 秀隆	美幌町商工観光グループ主幹
〃	木村 しずか	美幌町農業協同組合 総合企画推進室考査役
〃	信太 真人	美幌観光物産協会 事務局長
参画事業者	上西 恵	(株)ウエニシ 代表取締役
〃	高橋 信博	丸和油脂(株)美幌工場 技術顧問
〃	斉藤 誠	旬の味みはる 代表
〃	平岡 稠祥	平岡農園 代表
〃	午来 博	美幌みらい農業センター 担当主査
専門家	太田 裕一	オホーツク圏地域食品加工技術センター研究課長
〃	大友 真佐美	Food Office Masami 代表
事務局	佐藤 隆	美幌商工会議所 専務理事
〃	横山 清美	美幌商工会議所 事務局長

4. 委員会の開催

【第1回】

日時 平成26年10月9日（木）13：30 於 美幌経済センター  
実施事項（1）事業内容及び今後のスケジュールについて  
（2）事業実施内容についての意見交換会

【第2回】

日時 平成26年12月3日（水）14：00 於 美幌経済センター  
実施事項（1）事業の進捗状況について

(2) 試食・意見交換会

【 第3回 】

日 時 平成27年2月27日(金) 13:30 於 美幌経済センター

実施事項 (1) 事業報告について

(2) 専門家委員より意見講評

オホーツク圏地域食品加工技術センター研究課長 太田 裕一 様  
Food Office Masami 代表 大友真佐美 様

(3) 今後の取組みについて

5. 研修会への参加

☆ 美幌町グリーンアスパラガス振興会冬季研修会参加

日 時 平成27年2月10日(火) 15:30

場 所 美幌グランドホテル

参加者 専門家:大友真佐美 委員:松浦和浩 事務局:横山清美

内 容 ①事務局横山より趣旨説明

②松浦委員より事業内容説明

③大友専門家委員より試食と開発経過について説明

6. 試食会の開催

(1) 「冬姫」生産者に対する アスパラスープ試食による意見交換会

日 時 平成26年12月25日(木) 16:00

場 所 美幌経済センター

参加者 生産者4名、専門家:大友真佐美 委員長:後藤哲也 委員:松浦和浩  
事務局:横山清美 オブザーバー:松木美鈴

内 容 開発協力の依頼、経過説明と試食をしていただき意見交換会を行った。

(2) 2015美幌町民新年交礼パーティーにての試食会

日 時 平成27年1月5日(月) 18:00

場 所 美幌グランドホテル

参加者 専門家:大友真佐美 委員:後藤哲也・松浦和浩・上西 恵・小室秀隆  
事務局:横山清美 オブザーバー:松木美鈴

内 容 試作品の美幌産アスパラガスの切り下を利用したスープの試食していただき、  
来場者から試作品に対する意見を聞き、今後の商品化の資料としていくための  
アンケートを実施した。

7. 第17回グルメ&ダイニングスタイルショー feel NIPPON 春 2015 出展

日 時 平成27年2月4日(水)~6日(金) 3日間

時 間 10:00~18:00 (6日最終日は10:00~17:00まで)

場 所 東京ビッグサイト 東展示棟3ホール

目 的 美幌産のアスパラの切り下を使用した試作品の提供と市場調査

実施事項 ① 美幌産「冬姫」アスパラスープ 2,500食分の試食品提供

1日目 1,000食分

2日目 800食分

3日目 700食分

② 試食後のアンケート調査

③ 美幌町観光ポスターの掲示(美幌町PR)

④ 美幌豚醬「まるまんま」紹介

出展役員

	1日目	2日目	3日目	前日（準備）
総括	後藤 哲也	—	—	
アンケート回収	松浦 和浩	松浦 和浩	松浦 和浩	松浦 和浩
試食品調理	大友真佐美	大友真佐美	松浦 和浩	大友真佐美
〃	アルバイト	アルバイト	アルバイト	
運営全般	横山 清美	横山 清美	横山 清美	横山 清美

⑤タクシーチケット販売事業の実施（手数料収益 901,627円）

⑥消費税転嫁対策窓口相談等事業

消費税率の引上げに伴い、商工会議所に相談窓口を設置し、地域の中小・小規模事業者からの相談にワンストップで対応することで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援する。

○事業内容

- ・セミナー・講習会等の開催 10月24日、10月30日
- ・個別相談等の実施（巡回訪問・窓口相談等）

⑦「びほろ元気なまちづくり」講演会の開催

日時 平成26年12月1日（木）18:30～

場所 美幌町民会館 びほーる

テーマ 「私の映画人生」～大切な夢が将来への人づくりへ～

講師 演出家・映画監督 羽住 英一郎 氏

主催 びほろ元気なまちづくり実行委員会

共催 びほろ愛し隊

⑧合同会社びほろ笑顔プロジェクトに対する支援について

- ・国土交通省 平成26年度「地域づくり全国交流会議」地域づくり表彰 11月27日  
「日本政策投資銀行賞 受賞」
- ・北海道開発局「わが村は美しくー北海道」運動 第7回コンクール 2月25日  
「奨励賞受賞」
- ・緊急雇用創出推進事業受託(平成26年4月1日～12月31日)  
○地域資源（豚）を活用した新商品開発  
○地域ブランド商品（豚醬関連）の安定生産、販売体制の確立
- ・視察の受け入れ  
日時 平成26年10月14日  
場所 役員室  
受入先 安平町議会議員行政視察 10名
- ・美幌町における食品加工業の振興による地域活力向上検討会の開催  
豚加工品（まるまんま）の生産拡大・販売増による地域活力向上についての検討会  
(1月9日、2月9日、3月2日の計3回開催)

⑨合同会社びほろ宅配・便利サービスプロジェクトに対する支援

高齢者に加え、障害のある方、病気や子供が小さくて買い物に行けなくて不便を抱えている方及び一般方々の買い物等を支援するための事業。

- ・登録会員数 300名
- ・利用者数 宅配サービス 105人(延べ713回)  
便利サービス 92人(延べ152回)
- ・移動販売の実施
- ・緑の苑入居者買い物レクリエーション事業支援 平成27年2月16日

⑩美幌町収入証紙元売り事業

美幌町ごみ有料化に伴い、美幌町一般廃棄物処理手数料の収入証紙元売りの指定を受け、指定ゴミ袋の取り扱いを行なった。

取扱店	54店		
取扱高	100	10,289袋	2,057,800円
	200	19,550袋	7,820,000円
	300	14,360袋	8,616,000円
	400	18,579袋	14,863,200円
	250円証紙	470枚	117,500円
	500円証紙	520枚	260,000円
		合計	33,734,500円 (1,012,035円)

⑪第2回びほろ夏まつりの開催

美幌町民をはじめ近隣市町村の地域住民の方々に“楽しく美味しい真夏のひととき”を提供し観光振興を図るとともに、地域経済の活性化をもたらした。

開催日時 平成26年8月9日(土) 午前11時～午後9時

開催場所 美幌小学校グラウンド

- 内容 (1) 納涼花火大会  
(2) 美(B)級グルメ屋台村の出店  
オホーツク北見塩焼きそば 網走ちゃんぼん 別海ジャンボホタテ  
バーガー 小清水でんぷんだんご 小清水フレッシュイチゴ&イチゴ  
クレープ 阿寒やきとり丼 大樹チーズサーモン丼 美幌豚バーガー  
(3) 地元屋台村の出店(焼き鳥 から揚げ うどん そば わたあめなど)  
(4) 盆踊り大会(北海盆唄による一般盆踊り、子供盆踊り)  
(5) オホーツク管内のゆるキャラが集合  
(6) 美幌北中学校・美幌吹奏楽団の演奏会  
(7) 池田高校吹奏楽部ダンプレの演奏会  
(8) 子供ひろば(スマートボール、射的、バルーンアート)の実施

主催 びほろ夏まつり実行委員会

後援 美幌町

⑫会員サービス事業の実施

- ・商工会議所会員並びに従業員の福利厚生事業の一助として各種共済制度、所得補償制度 P L 保険制度、医療共済制度や共通優待サービス事業を実施した。
- ・JANメーカーコード登録申請業務及び容器包装リサイクル化委託申請業務を実施した。

⑬美幌町健康増進計画推進委員会事業支援

町民一人ひとりがそれぞれの望む「健康」を得ることができるよう健康づくりを支援し、それを継続できるための環境を整えることを目指し、「美幌町健康増進計画」を平成

25年度から29年度の5年間の計画を策定。

- ・委員会の開催 11月25日

⑭美幌町障害者自立支援協議会事業支援

美幌町に居住する障がい者が地域で安心して生活できるよう支援することも目的に活動。

- ・協議会の開催 6月6日、10月8日、12月3日、2月26日
- ・障害福祉懇話会の開催 4月23日、8月28日、12月12日、3月5日

⑮会員対象健康診断の実施

会員企業の経営者や従業員、並びに家族の健康管理の充実を目的として健康診断を実施した。

協会けんぽ加入者専用 5月以降随時受付

⑯美幌町次世代育成支援推進協議会事業支援

地域における子育ての支援、教育環境の整備、子供を育成する家庭に適した住宅の確保、職業生活と家庭生活との両立の推進その他次世代育成支援対策の実施に関する計画を策定。

- ・協議会の開催 8月6日、12月5日、1月26日、3月18日

⑰美幌地方自衛隊協力会事業支援

美幌駐屯地隊員の激励並びに後援等に努めるとともに、自衛隊の実態を認識し、自衛隊の健全な育成・発展に寄与することを目的に役員として事業支援を行った。

- ・会議等の開催 幹事会（3月26日）・役員会（4月9日）・総会（4月9日）
- ・美幌駐屯地創立63周年記念行事 4月20日
- ・機関紙「北辰新聞」の月1回の発行
- ・南スーダン派遣施設隊第6次要員支援事業
- ・美幌駐屯地案内看板作製

⑱自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会事業支援

美幌駐屯部隊の存置及び充実整備を図り、併せて隊区内市町村の振興に寄与することを目的とした、町内の自衛隊協力諸団体及び経済界の代表により構成された団体「陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会」の一員として事業支援を行った。

- ・会議等の開催 総会（4月8日）臨時総会（7月3日）  
役員会（4月2日、11月17日）
- ・陳情活動  
日時 平成27年2月9～10日  
陳情先 美幌駐屯地・第5旅団・帯広地方協力本部・第一特科団・北部方面総監部  
日時 平成27年2月16～18日  
陳情先 防衛省内局・陸上幕僚監部・自民党防衛関係代議士
- ・各種自衛隊行事に対し参加（諸会議等の出席 参照）

⑲美幌町みどり就労センター事業支援

高齢者の豊かな経験と能力を生かし就労機会の確保に向けた事業の支援を行った。

- ・会議等の開催 総会（4月24日）  
理事会（4月18日、11月13日）



⑳美幌みどりの村振興公社事業支援

自然環境を活用し、地域住民や都市生者に体験学習や野外活動の普及推進を図り、地域の農林業振興と地域住民の健康増進並びに福祉・文化の向上を図る事業の支援を行った。

- ・理事会の開催（5月28日、6月16日、8月26日、10月30日、3月30日）
- ・その他各種イベントの支援

㉑美幌・津別地域季節労働者通年雇用促進支援協議会事業支援

季節労働者の通年雇用促進の為、求人開拓、求人情報の事業支援を行った。

- ・総会 5月2日
- ・運営委員会 4月24日、2月21日
- ・セミナー 11月26日、1月21日
- ・就職合同面談 平成27年1月29日
- ・資格取得講習 平成26年2・3月

㉒役員・議員に対するFAX通信事業

号 数	発 行 日	掲 載 事 項
167	26. 5. 21	美幌町における景気動向調査報告書
168	26. 5. 23	新規高等学校卒業予定者求人申込み
169	26. 7. 25	美幌町における景気動向調査報告書
170	26. 8. 7	タクシーチケットのご利用案内
171	26. 10. 15	一日公庫ご案内
172	26. 10. 16	美幌町における景気動向調査報告書
173	26. 12. 26	年末年始業務のお知らせ

㉓美幌高等学校「インターンシップ」事業の支援

勤労や職業観の理解の深化を図り、コミュニケーション能力を養い、地域産業についての理解や地域社会に貢献できる人材育成を目的とする「就業体験」事業の支援を行った。

日 程 平成26年8月 第2学年  
受入企業 30事業所

㉔美幌町未来を拓くみちの会事業支援

まちづくりの観点から、今後の美幌町の道路のありかたを調査研究する事業を実施した。

- ・「オホーツクの道を考える会」代表者会議及び見学会

日 時 平成26年6月9日

場 所 北見道路・北海道横断自動車道網走線

㉕美幌ふるさと祭り事業支援

美幌町手作り出店実行委員会を編成し、暴力団の関係する露店を排除し、町民参加による手作り出店を推進し、美幌ふるさと祭りを実施した。

実施日 平成26年9月4・5・6日

場 所 神社通り

㉖青年部活動

1. 会 議

(1) 通 常 総 会

1) 日 時 26年4月24日 19:00～

場 所 美幌経済センター 役員室

決議事項 ①25年度 事業報告並びに 収支決算報告について

報告事項 ①新入会員紹介

2) 日 時 27年3月26日 19:00～

場 所 焼肉ダイニングチャンピオン

決議事項 ①27年度 事業計画(案)に並びに 収支予算(案)について

(2) 臨時 総 会

1) 日 時 26年10月31日 19:00～

場 所 肉の割烹 田村

決議事項 ①27年度 役員予定者選出について

(3) 役 員 会

1) 日 時 26年4月17日(木) 12:00～

場 所 美幌経済センター 役員室

議 題 ①25年度 事業報告並びに収支決算について

②新入会員について

③4月定例会「新会員情報交換会」開催について

④第27回会員親睦ボウリング大会(6月事業)開催日について

⑤第35回美幌観光和牛まつり事業支援について

2) 日 時 26年5月9日(金) 12:00～

場 所 美幌経済センター 会頭室

議 題 ①5月定例会「新会員情報交換会」開催について

②第27回会員親睦ボウリング大会内容について

③26年度「YEGが創る夢ある北海道会議」へのメンバー登録

④26年度 北海道ブロック会長会議(名寄市)について

⑤第60回 美幌峠まつりの協力支援について

⑥「北海道次世代戦略経営塾」受講者募集について

3) 日 時 26年6月2日(月) 11:30～

場 所 美幌経済センター 役員室

議 題 ①第27回会員親睦ボウリング大会について

②新会員情報交換(5月定例会を踏まえて)

③7月定例会「家族親睦例会」について

4) 日 時 26年7月4日(金) 12:00～

場 所 美幌経済センター 役員室

議 題 ①新入会員加入について ※歓迎会の実施について

②7月定例会「家族親睦例会」について

③9月度事業「第10回 素敵な出会い交流パーティー」実施について

④婚活事業に伴う他団体等との連携について

⑤「びほろ」みらいまちづくり会議委員への推薦依頼について

⑥北海道ブロック美唄大会参加確認について

⑦規約第5条(会員資格)について

⑧ご当地カクテル開発について

⑨美幌町新イメージマーク製作について

5) 日 時 26年7月24日 19:00～

場 所 焼肉ダイニングチャンピオン

議 題 ①新入会員紹介(入会申込順)

②北海道ブロック大会美唄大会参加者について

③びほろ夏まつり実行委員会(最終打合せ)について

④「びほろ」みらいまちづくり会議委員について

- ⑤道東地区協議会交流会について  
⑥9月定例会の内容について
- 6) 日時 26年9月25日(木) 19:30～  
場所 美幌経済センター 役員室  
議題 ①平成27年度三役予定者選出について  
②臨時総会開催について  
③全国会長研修会「しばた会議」参加について  
④道東地区協議会会長会議について  
⑤第10回 素敵な出会い交流パーティー開催について
- 7) 日時 26年10月24日(金) 19:00～  
場所 美幌経済センター 役員室  
議題 ①臨時総会提出案件について  
②平成28年度第36回日本 YEG 全国大会いわみざわ大会について  
③全国会長研修会しばた会議出席について  
④平成26年度 YEG が創る夢ある北海道会議 物産展について  
⑤第10回素敵な出会い交流パーティー実行委員会開催について
- 8) 日時 27年1月16日(金) 19:00～  
場所 美幌経済センター 役員室  
議題 ①第10回素敵な出会い交流パーティー実施について  
②2015 びほろ冬まつり寒中焼肉パーティーについて  
③新入会者紹介  
④第36回全国大会北海道いわみざわ大会所属部会について  
⑤平成27年度事業計画意見交換について
- 9) 日時 27年3月23日(月) 19:00～  
場所 美幌経済センター 役員室  
議題 ①平成27年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- (4) 次年度役員会
- 1) 日時 27年2月12日(木) 19:00～  
場所 美幌経済センター 役員室  
協議事項 ①平成27年度事業計画等について  
②第36回全国大会北海道いわみざわ大会所属部会について  
③平成30年度全道大会に向けての事業実施について  
④平成27年度委員会の活動内容・テーマについて
- 2) 日時 27年2月25日(水) 19:00～  
場所 美幌経済センター 役員室  
協議事項 ①会員増強運動(7名目標)  
②YEG 研修会(日本 YEG・北海道 YEG 勉強会)  
③外部講師による勉強会  
④YEG 会員による勉強会  
⑤素敵な出会い交流パーティー  
⑥会員親睦ボウリング大会  
⑦全国会長研修会・全国大会への参加  
⑧びほろ冬まつり寒中焼肉のイベント実施  
⑨平成30年度全道大会開催に向けてのスケジュール・事業検討会  
⑩親会との情報交換等の実施について  
⑪通常総会開催予定日について  
⑫27年度北海道 Y E G 理事・幹事人選について

(5) 委 員 会

1) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会

日 時 26年10月20日 19:00～

場 所 居酒屋 加賀屋

協議事項 ① 開催日並びに内容についての意見交換会

出席人数 JA青年部 6名、美幌 YEG 7名

2) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会

日 時 26年11月6日 19:00～

場 所 美幌経済センター 役員室

協議事項 ①実施企画内容について

出席人数 JA青年部 6名、美幌 YEG 6名

3) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会

日 時 26年12月8日(月) 19:00～

場 所 JA美幌

協議事項 ①実施企画内容について

出席人数 JA青年部 5名、美幌 YEG 5名

4) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会

日 時 27年1月13日(火) 18:30～

場 所 美幌経済センター 役員室

協議事項 ①スタッフ等の最終確認について

出席人数 JA青年部 5名、美幌 YEG 5名

5) 素敵な出会い交流パーティー実行委員会

日 時 27年3月9日(月) 19:00～

場 所 居酒屋 加賀屋

協議事項 ①決算報告・事業報告について

②次回開催に向けての反省事項など意見交換

出席人数 JA青年部 5名、美幌 YEG 6名

6) 総務委員会

日 時 26年8月1日(金) 19:00～

場 所 居酒屋 加賀屋

協議事項 ①美幌モヒート(仮称)開発について

参加者 小関・星・坂本・弥三谷

7) 総務委員会

日 時 26年9月9日(金) 10:00～

場 所 美幌商工会議所

協議事項 ①美幌モヒート(仮称)開発について

参加者 小関・星・坂本・弥三谷・伊藤

2. 事 業

(1) 定 例 会

1) 4月定例会「新会員情報交換会」

日 時 26年4月24日 19:30～

場 所 美幌経済センター役員室

出席者 12名

2) 5月定例会「新会員情報交換会」

日 時 26年5月21日 19:00～

場 所 美幌経済センター役員室

出席者 7名

- 協議事項 ・平成26年度「YEGが創る夢ある北海道会議」への登録メンバー  
 ・第1回北海道ブロック会長会議並びに総会  
 ・第27回 会員親睦ボウリング大会  
 ・「北海道次世代戦略経営塾」受講生募集について  
 ・美唄 YEG 来訪報告について
- 3) 7月定例会「会員家族親睦例会」  
 日 時 26年7月20日 10:30～  
 場 所 美幌和牛観光まつり会場  
 出席者 青年部10名 ご家族11名
- 4) 9月定例会「ご当地カクテルで美幌町を盛り上げよう！」  
 日 時 26年9月11日 19:00～  
 場 所 美幌経済センター 役員室  
 出席者 9名 オブザーバー1名  
 協議事項 ・9月20日(土)道東地区協議会交流会について
- 5) 11月定例会「各事業における意見交換会」  
 日 時 26年11月20日 19:00～  
 場 所 美幌経済センター 役員室  
 出席者 13名  
 協議事項 ・びほろ冬まつりの開催場所・体制についての意見集約  
 ・第10回素敵な出会い交流パーティー開催について  
 ・第36回全国大会北海道いわみざわ大会運営組織図(案)について  
 ・びほろ若者クラブ委員について  
 ・日本商工会議所青年部 第34回全国大会京都大会参加について
- 6) 12月定例会「各事業における意見交換会」  
 日 時 26年12月26日 19:00～  
 場 所 焼肉チャンピオン  
 出席者 13名  
 協議事項 ・第10回素敵な出会い交流パーティー開催について  
 ・2015冬まつり:平成27年2月1日(日)  
 ・日本商工会議所青年部 第34回全国大会京都大会参加について  
 ・美幌町民新年交礼パーティー参加について
- (2) 美幌町、美幌商工会議所等への事業支援
- 1) 美幌観光和牛まつりイベント支援  
 日 時 26年7月20日(日) 9:30～12:00  
 場 所 美幌和牛観光まつり会場  
 内 容 イベント会場運営補助  
 参加者 中川会長ほか1名
- 2) びほろ夏まつり運営支援  
 日 時 26年8月9日・10日 2日間  
 場 所 美幌小学校グラウンド  
 内 容 イベント運営補助  
 参加者 中川会長ほか11名
- (3) 北海道YEG・他団体との交流
- 1) 仲田会長を迎えての日本YEGとの懇談会  
 日 時 26年6月2日(月) 10:00～11:30  
 場 所 美幌経済センター 役員室  
 参加者 中川英保、坂本美紗、橋本純一、星 哲也、小関元春、伊藤健一

- 2) 美唄 YEG との交流会  
 日 時 26年6月20日(金) 21:00～  
 場 所 中国料理 天上天  
 参加者 中川英保、大沼 泰、橋本純一、星 哲也、小関元春、乙武 忍  
 工藤 伸、伊藤健一
- 3) 美幌国際交流パーティー「若人との交流会」  
 日 時 26年8月22日(金) 18:00～22:30  
 場 所 ビールパーティー／美幌グランドホテル  
 参加者 中川英保、大沼 泰、坂本美紗、星 哲也、村田将昭
- 4) 北海道 YEG ブロック大会「美唄大会」  
 日 時 26年8月30日(土)  
 場 所 美唄市民会館ほか  
 内 容 記念式典、記念講演、交流会  
 参加者 中川英保、大沼 泰、橋本純一、星 哲也、村田将昭、小関元春  
 坂本美紗、工藤 伸、勘場瀬浩之、坂本和幸、米田和也、伊藤健一
- 5) 道東地区協議会「ブロック交流会」  
 日 時 26年9月20日(土) 12:30～  
 場 所 オホーツクカントリークラブほか  
 内 容 交流会・懇親会  
 参加者 中川英保、坂本美紗
- 6) 第32回全国会長研修会しばた会議  
 日 時 26年11月14日(金) 15日(土)  
 場 所 新潟県新発田市カルチャーセンター ほか  
 内 容 基調講演、交流会、分科会、全体研修会  
 参加者 大沼 泰、坂本美紗、伊藤健一
- 7) 道東地区協議会会長会議  
 日 時 26年11月22日(土) 16:00～  
 場 所 美幌経済センター 役員室  
 内 容 会長会議・交流会  
 参加者 中川英保、大沼 泰、坂本美紗、伊藤健一
- 8) 第34回全国大会京都大会  
 日 時 27年2月20日(金)～22日(日)  
 場 所 京都市勧業館 みやこめっせ  
 内 容 記念式典・記念講演・第2交流事業・交流会  
 参加者 星 哲也、小関元春、村田将昭
- (4) 美 幌 Y E G 事 業
- 1) 第27回 会員親睦ボウリング大会  
 日 時 平成26年6月20日(金) 18:30～  
 場 所 美幌グランドホテルボウリング場  
 参加数 14チーム 42名  
 結 果 優勝「前田商店チーム」、準優勝「タカハシチーム」
- 2) 第10回 素適な出会い交流パーティー  
 日 時 27年1月24日(土) 18:30～  
 場 所 美幌グランドホテル  
 参加人数 男性25名 女性24名 計49名  
 成 立 数 カップル15組
- 3) 2015びほろ冬まつり寒中焼肉パーティー

日 時 27年2月1日(日) ※吹雪のためイベント中止  
 内 容 焼肉100パックのみ、後日販売

3. 諸会議等への出席

諸 会 議 名	開催年月日	参加者名	開催地
道東地区協議会会長会議	26.04.26	大沼副会長他	網走市
北海道ブロック会長会議	26.05.31	大沼副会長他	名寄市
美幌まちづくり若者クラブ	26.06.26	中川会長他	経済センター
美幌まちづくり若者クラブ	26.07.23	大沼副会長	経済センター
美幌まちづくり若者クラブ	26.09.19	大沼副会長他	経済センター
「びほろ」みらいまちづくり会議	26.09.26	大沼副会長	しゃきっとプラザ
道東地区協議会会長会議	26.10.04	坂本監事	網走市
「びほろ」みらいまちづくり会議	26.10.22	大沼副会長	しゃきっとプラザ
びほろ冬まつり実行委員会	26.11.25	中川会長	役場別館
「びほろ」みらいまちづくり会議	27.01.14	大沼副会長	しゃきっとプラザ
美幌まちづくり若者クラブ	27.02.24	小関・工藤・米田	経済センター
びほろ冬まつり実行委員会	27.03.04	中川会長	役場別館
美幌まちづくり若者クラブ	27.03.09	小関・工藤・米田	経済センター
「びほろ」みらいまちづくり会議	27.03.25	大沼副会長	しゃきっとプラザ

4. 諸団体への加入及び連携

- (1) 北海道商工会議所青年部連合会 理事 【中川会長】
- (2) 北海道商工会議所青年部連合会 幹事 【大沼副会長】
- (3) 合同会社びほろ笑顔プロジェクト 社員 【長谷川・安井・星・井倉・弥三谷】
- (4) びほろ冬まつり実行委員会 副実行委員長 【中川会長】
- (5) びほろ冬まつり実行委員会 企画委員 【中川会長】
- (6) 美幌観光物産協会 理事 【中川会長】
- (7) 美幌観光和牛まつり実行委員会 委員 【中川会長】
- (8) 美幌町暴力追放推進協議会 会員 【長谷川】
- (9) 美幌町明るい選挙推進協議会 【和田顧問】
- (10) 美幌まちづくり若者クラブ「びほろ愛し隊」 【小関・工藤・米田】
- (11) 「びほろ」みらいまちづくり会議委員 【中川会長・大沼副会長】

## (2) 意見活動

○第94回東北北海道商工会議所連絡協議会提出（5月9日）

○平成26年度自由民主党移動政調会提出

### 社会保険料率の軽減並びに適用拡大の反対について

平成15年4月から、健康保険や厚生年金保険の保険料は負担の公正化を図るため、月額報酬と賞与について同率の保険料を賦課する「総報酬制」へと切り替わった。

それに伴い、平成15年3月以前の賞与に対する保険料率では、健康保険・厚生年金保険料が事業主・被保険者合計で1000分の18が1000分の217.8と10倍以上の負担増となった。

さらに、国は平成29年には年収の18.3%（労使折半）まで上げるべく、平成16年10月から厚生年金保険料を段階的に引き上げてきており、この保険料の引き上げは、企業の費用負担増となり経営を圧迫するものである。

また、「パート労働者に対する社会保険の適用拡大」法案は、「税と社会保障に関する一体改革」法案の一部として、パート労働者への社会保険適用拡大を従業員数501人以上の企業を対象に、労働時間では現行の「週30時間以上」から「週20時間以上」に、年収を「130万円以上」から「106万円以上（月額賃金88,000円以上）」にとそれぞれ拡大し平成28年10月以降から適用実施されることが平成24年8月国会を通過し実施が決定した。

これが実施されれば地域経済を支える中小企業にとって過大な負担となり、道内の景気低迷に更に拍車をかけるものである。

一方、500名以下の企業については、平成31年9月30日までに検討を加え、その結果に基づき、必要な措置を講ずるともされている。

については、景気浮揚及び消費の拡大を図るためにも保険料の軽減を実現するとともに、パート労働者等非正規労働者の適用拡大がこれ以上実施されないことがないよう要望する。

### 女満別空港の就航体制の整備について

女満別空港は、オホーツク地域における本州、道央地域を結ぶ重要な航空拠点として産業経済の発展、観光振興はもとより文化・スポーツ交流など地域社会の発展に重要な役割を果たしています。

現在、同空港は道内の新千歳、丘珠と、道外では東京、名古屋と結ぶ直行便、大阪（関西）の季節運航（6月～10月）、平成20年11月にILS36（ILS双方向化）が供用開始され離着陸の安全性向上が図られるなど道東観光の拠点、またビジネス客の交通手段として利用されています。

しかし、現在、オホーツク管内への観光客の減少、機材の小型化、運航体制の縮小等により、乗降客は年々下降を辿っています。

今後、道内外からのビジネス客、観光客の利用増加を図り、更に東南アジアなど海外から国際チャーター便を誘致するなど利用客の増加を図るため同空港の就航体制の充実、整備が望まれます。

そこで、当地方の経済活性化を推進のため強く要望致します。

#### 記

1. 国際チャーター便に対応したC I Q施設の整備およびC I Q職員の常駐配置
2. 東京便の女満別始発時間帯の繰上げ



3. 季節運航路線の通年運航化
4. 主要都市とを結ぶ新規路線の開設推進
5. 機材の大型化及び就航便数の増大
6. 北海道新幹線開通に伴う女満別空港―函館空港間の新規路線開設について
7. LCC（格安航空会社）の誘致

### 北海道横断自動車道の整備促進について

北海道は広大な土地に都市が点在しているため、都市間距離は全国の約2倍となっており、その移動に要する時間は当然長く、地方センター病院及び救命救急センターのカバー面積は全国と比べて約4倍となっている。このような広域分散の地域構造にあるなか、移動手段の大部分を自動車に依存しているが、点在する中心都市などを連絡する高速ネットワークの整備は遅れている状況である。特に広域分散型の地域構造が顕著な道東地域では、農水産物が全国シェアの上位に位置しているところであり、更なる効率的な輸送と安全・安心な農水産物の輸送が必要不可欠である。

また、高齢化社会を迎えている本地域では、最近の医師不足による地域医療への住民不安が顕在化する中で、救急搬送並びに日常の受療動向とも第三次高度医療施設が存在する中核都市へ依存する傾向が強くなっており、住民は遠距離の移動で大きな負担を強いられている。

更には、今後大規模な地震、津波等の災害が発生した場合、国道の寸断による救急車両の不通、生活関連物資輸送が止まるなどの被害も危惧されるが、当地域は国内有数の地震発生地域であり、地勢的にも防災・減災の早急な取り組みが不可欠であることから、新たな社会資本を柔軟に整備・活用する発想を持って、災害に強いインフラを構築していくことが必要である。

については、地域基幹産業の競争力を高め、地域医療の格差是正を図り、災害から地域の生命線を実に確保するために、高規格幹線道路、地域高規格道路並びに国道の整備が促進されるよう要望する。特に北海道横断自動車道は、点在する道東の中核都市を効果的に結びつけ、道東と道央を直結させる大動脈として地域の産業・経済の発展、円滑な物流、観光振興などあらゆる面で多大な効果をもたらすことが期待されており、交通ネットワークは全線が開通することにより本来の目的が達成されることから、早期完成を強く要望致します。

#### 記

予定路線区間「北見市端野―網走」間の効率的・効果的整備の促進。

特に女満別空港まで直結する「美幌バイパス」と「北見道路」を結ぶ「北見市端野―美幌」間の早期整備

### JR石北本線「旭川―網走」間の高速化及び利便性の向上並びに「札幌―網走」間の車両の快適性向上について

オホーツク地域は道央及び道北など遠隔にあるオホーツク圏において、札幌始め主要都市を結ぶ交通手段の高速性及び利便性を高めることが地域振興の上で欠くことのできない要件であります。

JR石北本線はオホーツク地域を縦貫する重要な交通手段として地域住民、観光客に利用されているが、「旭川―網走」間の速度は性能の高い列車でも時速約95kmが限界という構造面から「旭川―札幌」間の約130kmに比べると大きな差があります。

また、所要時間も特急列車で「札幌 - 旭川」間は1時間35分で運行し、「旭川 - 網走」間は諸条件が異なるとしても3時間41分も要しており、さらに、利便性の面で、現在「札幌 - 網走」間を結ぶ特急列車は1日4往復の運行体制から、その運行時間の間隔が長く、利用に大変不便を感じています。

更には、長距離路線に欠かせない、いわゆる快適な車両の整備・導入が求められています。

北海道新幹線の開通後における2次交通整備も今後重要な課題となってくることから、地域住民の交通の利便性を高め、オホーツク地域の都市機能の充実向上にJR石北本線「旭川 - 網走」間の特急列車の増発と安全性をふまえた高速化の促進、並びに「札幌 - 網走」間の車両の快適性向上について強く要望致します。

#### 記

1. JR石北本線「旭川 - 網走」間の安全性をふまえた高速化
2. 快適で乗り心地のよい車両へのグレードアップ

### 地域高規格道路の整備促進について

高規格幹線道路との連携による全国的な「交通ネットワークの形成」の一環として、道内においても地域高規格道路の整備が進められています。

広大な東北海道地域においては、都市間を有機的に結ぶ道路網の整備が重要な課題であるが、北海道横断自動車道と連携した地域集積圏の拡大や、広域物流拠点である重要港湾、広域交通拠点としての空港などと連結する高速交通ネットワークを形成する上で、地域高規格道路の重要性が高まっていることから強く要望致します。

#### 記

1. 地域高規格道路候補路線「道東縦貫道路」（美幌町 - 標茶町）の計画路線への早期昇格

### 道路整備に必要な予算の確保について

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律等の一部を改正する法律が平成21年4月30日に公布・施行され、平成21年度から道路特定財源はすべて一般財源化されたが、広大な面積を有する北海道においては、分散する拠点都市を有機的に結合させ、立ち遅れている産業構造の高度化を推進させるためにも交通ネットワークの整備は急務を要する課題であるといえます。

つきましては、道路整備が速やかにかつ確実に進められるよう予算の確保を強く要望します。また、地域格差の是正、生活者重視、緊急対策等の視点から地方の活性化、高速道路や高次医療施設へのアクセスの強化、冬期道路の維持管理及び改善、道路防災対策、交通事故対策などのための必要な道路整備の施策が確実に実行されるよう重ねて強く要望致します。

#### 記

1. 分散する拠点都市を有機的に結合し、立ち遅れている産業構造の高度化を推進させるための交通ネットワークの整備
2. 広い北海道の「地域の命をつなぐ緊急医療」のための高速道路網をはじめとした道路整備

3. 北海道の厳しい冬の期間でも、子供たちやお年寄りたちが安全・安心して生活できるための道路整備

### WTO 農業交渉と経済連携協定（EPA）の日本提案の適切な対応の実施について

道東地域が魅力ある農村環境を維持し、国民の安全な食料を安定供給するとともに、管内農業・農村の持続的な発展を図っていくためには、WTO・EPA交渉に当たり、多様な農業の共存を目指す我が国の主張が適切に反映されるよう、国民合意の下、確固たる姿勢で粘り強く交渉に望むことを要望致します。

記

1. WTO農業交渉に当たっては、農業・農村の多面的機能の発揮や食料安全保障の確保を図るなど、日本提案の実現を目指すというこれまでの基本姿勢を堅持すること。
2. EPA交渉に当たっては、多様な農業の共存と食料安全保障の確保が図られるよう、関税撤廃の例外品目を設定するなど適切に対応すること。

### 北海道における自衛隊体制の維持・充実について

北海道は、我が国の防衛戦略上極めて重要な拠点として位置付けられ、自衛隊創隊当初から第一線部隊が配置され、国土防衛や地域の安全と安定に大きな役割を果たすとともに、国際的な安全保障環境の構築に寄与してきました。

しかしながら、平成17年度以降、道内の陸上自衛隊は大幅な削減が行われ、防衛力からみた北の守りの低下は地域の安全と安定、更には地域の経済・社会に大きな影響を及ぼしています。

オホーツク管内においては、第5旅団美幌駐屯地並びに第2師団遠軽駐屯地が所在し、北方防衛の最前線に立ってきたが、近年はスリム化の要請に対応しつつ、機動性と即応性を兼ね備えた精強化部隊として高い練度を維持する努力を続けられ、国際貢献活動の主力ともなっています。

加えて、地域住民との相互信頼の絆も厚く、経済、社会、文化などさまざまな面でかかわりを持ちながら地域の発展に大きく貢献しており、東日本大震災以降は地震、津波など大規模災害への備えが叫ばれる中であって、地域からの自衛隊に対する期待は誠に大きなものがあります。

平成25年度に策定された新たな防衛計画の大綱並びに中期防衛力整備計画では、統合機動防衛力の構築が打ち出され、高い練度を維持した機動運用を基本とする機動師・旅団の半数を北海道に保持することや、自衛隊部隊の存在が地域コミュニティの維持・活性化に大きく貢献していることを認識し、地域特性や地元経済への寄与に配慮することが示されています。

また北海道は、部隊練成に不可欠な大規模演習場が数多く配置されるなど、防衛力を下支えするための良好な訓練環境が整っており、高度な技術力も持ち即応性や持続性、強靱性及び接続性を重視しつつ、多様な活動に即応した実効的な防衛力の構築を進める上でも、北海道の自衛隊は更に重要な役割を担って行くものと確信しています。

今後も、北日本地域の安定的な戦略環境と統合機動防衛力の構築や地域の安全と安定、更には自衛隊創隊以来、半世紀以上の長きにわたり、国の防衛政策の推進に積極的に協力してきた北海道の役割や道内に所在する防衛財産の価値を十分に認識され、北海道における陸上自衛隊の維持・充実について要望致します。

## 国土交通省北海道局並びに北海道開発局の存続について

北海道は明治以来、わが国の食料やエネルギー資源などの供給地として位置付けられ、政府は国家的見地から北海道開発に積極的な投資を行ってきました。

現在は、北海道開発法に基づく北海道総合開発計画を企画・立案し、推進する体制として、「国土交通省北海道局、北海道開発局、開発建設部」という組織構成により執行されているが、積雪寒冷や広域分散型社会を反映した北海道特例の継続、公共事業予算の一括計上などの施策とあわせ、総合的な開発の枠組みが有効に機能しています。

これらの枠組みによって、例えば、食料の生産基盤である農地や漁港、関連施設などを計画的に整備し、それらを運ぶための道路や港など物流基盤を有機的に構築することで、総合的機能を持った「日本の食料基地」として、国益にかなう産業基盤の一体的整備が図られるとともに、地域住民の安全・安心なくらしと産業を守る治水・防災や生活基盤づくりに大きな役割を果たしています。

こうした中、国土交通省の組織見直しに関して北海道局の廃止・統合議論が一時浮上したことや、国の出先機関改革等の議論が行われてきたことなどから、地域では依然として強い危機感を共有する状況にあります。

北海道局は北海道開発を一元的に担当する局として、財政当局をはじめ各省・各局と対等な立場で調整する機能を有し、全国一律の観点で政策を所管する国土交通省他局とは性格を異にしており、廃止あるいは統合されることになれば、一括計上権や北海道特例が継続されたとしても、北海道開発の枠組みの弱体化・形骸化が危惧されます。

また、北海道開発局についても近年、地方整備局など出先機関の権限委譲と同一視した見方が広がるなど、国土交通省と農林水産省が所管する国の公共事業の実施を一元的・総合的に担う機関としての本質が軽んじられていることは、甚だ遺憾と言わざるを得ません。

地球的規模で深刻化する資源・食料の獲得競争やエネルギー問題、大災害に備えた大規模バックアップ拠点機能の確保など国家が優先して取り組むべき課題の解決に向け、正に国家的見地に立った北海道開発の推進が強く求められている中で、我々北海道民は今こそフロンティアスピリットをもって使命に応え、食料自給率の向上やエネルギーの安定供給などに寄与し、国の発展に貢献して行く所存であります。

しかしながら、国土面積の22%を占める北海道の国家的開発を自治体の財政負担によって支えて行くことは極めて困難と言え、他地域と比べ非常に立ち遅れている高速交通・物流ネットワークなど必要とされる社会資本整備や1次産業の振興、さらには国策としての北方領土隣接地域の振興などの面で、北海道局並びに北海道開発局への期待は誠に大きなものがあり、拙速な統廃合や委譲議論は避けるべきであります。

については、北海道総合開発体制の国家的使命を確認するとともに、国土交通省北海道局並びに北海道開発局の存続を要望致します。

## TPP交渉（環太平洋経済連携協定）に対する適切な対応について

TPP問題については、政府が平成25年3月に交渉参加を表明して以来、これに反対する多くの国民の声を反映して、その年の4月の衆参水産委員会で、「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉参加に関する決議」を行いました。

決議では「わが国には一定の農産品以外にも守り抜くべき国益が存在し、この確認がどのように確保されていくのかについても、その具体的内容はいまだ明らかにされていない。そのため各界各層の懸念はいまだ払拭されておらず、とくに交渉参加について農林水産関係者をはじめ、幅広い国民の合意が形成されている状況ではない」と強調しています。

TPP交渉については、本年2月にシンガポールで行われた閣僚会合で、各国の主張の隔たりが大きく大筋合意には至らなかった。しかし4月に訪日したオバマ大統領との日米首脳会談に向

け合意のメドをつける方向で精力的な調整作業が進められてきました。

交渉妥結が目的化し、これまでの国会決議を無視した協議は、国民一人ひとりの暮らしや地域社会の将来に極めて大きな禍根を残す問題であり、国民的議論のないまま交渉を進めることは、決して国益にかなうものではありません。

平成25年3月に北海道農政部が、関税撤廃による北海道農業等への影響試算を行った中で、関税率10%以上かつ道内生産額10億円以上の農作物12品目で見た場合、農業産出額で4,931億円減少し、関連産業、地域経済への影響を合わせると15,846億円もの影響を受けることが予測されています。このことは、第一次産業を主に、関連する食品製造業や農業機械の営業所、農産物を運搬する輸送業者など農業関連産業の従事者も多い道東地域においては、地域崩壊を招くことに繋がりがかねないものであります。

よって、農業や関連産業が国際競争に耐え得る対策を講じる事と、その成果が表れる時期を十分考慮することが必要であり、食と農業を守るという信念のもと、TPP交渉にあたっては、多くの国民が共有する国益が損なわれることのないように適切な対応をされるよう要望致します。

### 道内空港の持続的な運営について

広大な面積を有する本道には現在13の空港があり、そのうち道東地区には国管理空港の釧路空港、道管理の女満別・中標津・紋別空港、市管理の帯広空港と5つの空港がある。それぞれの空港が、道東の地域経済の活性化に大変重要な役割を果たしており、特に道内と道外間の旅客輸送についてその9割を航空機輸送が担っている現状において、空路は地域住民の生活を支える重要な交通基盤であります。

そのような中、平成23年7月、国の「空港運営のあり方に関する検討会報告書」が取りまとめられ、国管理空港において「航空系事業と非航空系事業の経営一体化の推進」、「民間の知恵と資金の導入とプロの経営者による空港経営の実現」などの基本原則が示されて以降、国管理空港の空港経営改革を巡る動きが一気に加速しています。

平成25年7月、「民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律」が施行され、同法に基づく基本方針が11月1日に公表され、これを受け早くから民間運営による活性化を目指していた仙台空港（宮城県）は、11月から「仙台空港特定運営事業マーケットサウンディング」を実施し、民間事業者からの提案をまとめました。今後は、本年5月に実施方針等の策定を行った後、運営権者を選定し、平成28年度を目途に運営委託を開始するとされています。

一方では、「国管理空港の今後の経営改革に向けた取組（案）」が示され、地域活性化の戦略拠点としての真に魅力のある空港づくりや空港運営の効率化等の促進（ローコストエアポートの実現）などが示され、コンセッションできない空港も併せて経営改革を進めるとしてあります。

広域分散型の北海道においては、高速交通を空路だけに依存する地域が数多くあり、さらには、災害時の救援活動の拠点としての役割など、道内空港に求められる機能は単なる経営効率のみで判断できるものではなく、道民の安心・安全な生活に欠かせない「高い公共性」を有していることから、唯一の交通ネットワークである空港が、観光振興や医療体制の充実など地域に果たす役割は極めて大きいものがあります。

については、北海道においては、本道の特殊性を十分に認識の上、空港毎・管理主体毎ではなく、それぞれの自治体と協議し地元の実情を踏まえて、特色のある道内13空港の維持・存続へ向けその方向性を早急に示し、国に対し意見を述べていただくよう強く要望致します。

## ○美幌町商工業の振興並びに育成のため（平成26年12月4日）

平成27年度之美幌町の予算編成にあたり美幌町商工業の振興並びに育成のため、次の事項について特段のご高配を賜りますよう茲に要望致します。

美幌町長 土谷 耕治 殿

### 要 望 事 項

#### 1 商工会議所運営に関する予算要望について

平成27年度美幌町商工会議所事業運営にあたり下記の通り予算要望をいたしますので美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| (1) 商工会議所中小企業相談所運営費補助金        | 応分な金額       |
| (2) びほろ夏まつり開催に伴う補助金           | 補助対象経費の3分の2 |
| (3) 宅配移動便利サービス利用促進事業に伴う運営費補助金 | 60万円        |

#### 2 陸上自衛隊美幌駐屯部隊の維持・充実について

理 由

本町は、昭和26年旧海軍航空隊跡地に当時の警察予備隊美幌部隊が駐屯し、今や全国に誇り得る陸上自衛隊の精鋭部隊の駐屯する町であります。

しかしながら、平成17年度以降、道内の陸上自衛隊は大幅な削減が行われ、防衛力からみた北の守りの低下は地域の安全と安定、更には地域の経済・社会に大きな影響を及ぼしています。

平成25年度に策定された新たな防衛計画の大綱並びに中期防衛力整備計画では、統合機動防衛力の構築が打ち出され、高い練度を維持した機動運用を基本とする機動師・旅団の半数を北海道に保持することや、自衛隊部隊の存在が地域コミュニティの維持・活性化に大きく貢献していることを認識し、地域特性や地元経済への寄与に配慮することが示されており、北海道の自衛隊は更に重要な役割を担って行くものと確信しています。

今後も、安定的な戦略環境と統合機動防衛力の構築や地域の安全と安定、更には自衛隊創隊以来、半世紀以上の長きにわたり、国の防衛政策の推進に積極的に協力してきた北海道の役割や道内に所在する防衛財産の価値を十分に認識され、引続き美幌町当局の美幌駐屯部隊の維持・充実について要望する次第であります。

#### 3 公共事業の確保と早期発注方要望について

理 由

個人消費の低迷、民間設備投資の減少、長年にわたる公共事業の削減等で景気は依然として厳しい状況の中であり、こうした状況がさらに続けば当地方経済の活力も著しく低下・疲弊します。

昨今の地方自治体の財政状況も極限状態であるとは存じますが、地域経済活性化に向け下記事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 建設工事量の安定的確保と地元企業への優先発注
- (2) 「美幌町住宅リフォーム促進助成制度」早期受付開始

#### 4 町産品愛用及び町内優先購入方要望について

##### 理 由

当所では、地元産品愛用と町内優先購入の促進を美幌町連合商店会と協力し積極的に活動を展開しているところであり、美幌町におかれましても特段のご支援を賜りますよう要望する次第であります。

また、例年各商店会や組合等で実施致しております地元消費拡大のためのセールやイベント等は、販売促進及び商店街の活性化に繋がるよう事業展開を進めていく所存でありますので、引続き美幌町中小企業振興条例に基づく助成金を賜ります様特段のご配慮を併せて要望する次第であります。

#### 5 町内消費拡大事業に対する支援について

##### 理 由

個人消費の拡大と購買力の流出防止を狙い、美幌商工会議所・美幌町連合商店会・協同組合スマッピーカードびほろで実行委員会を編成し、21年度より実施しております販売促進活動は、利用者に対する利便性の向上と加盟店の販促活動に大いに貢献しているものと実感しております。

27年度におきましては、更なる加盟店の拡大や消費者ニーズを的確に把握し、地元商店街として活性化に向け有効かつ効果的に運用できます様事業展開を致していく所存でありますので、美幌町におかれましても引続き商業の振興、景気回復のため特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

#### 6 観光振興計画策定に伴い今後の事業展開の推進について

##### 理 由

本町は、4国立公園と網走国定公園に囲まれ、JR石北線、国道4本、女満別空港が近隣にある交通の要所であります。加えて、阿寒国立公園の景勝地の一つとして天下の絶景「美幌峠」を有しておりますが、現状は通過型観光であり観光客は年々減少傾向にあります。

そうした状況を踏まえ、本町の観光活性化に向け26年度より当所で「美幌町観光推進協議会」を設置し美幌町・美幌観光物産協会と共に知恵を出し合ってきています。

今後も、観光振興計画の各種事業の早期展開を官民一体となり進め、美幌町の自然環境や地理的利便性を最大限に生かすと共に、投資的な観光も積極的に展開し、滞在型観光を目指していきたいと存じますので美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

また、当商工会議所では町おこしとして新たな地域ブランドの取り組みで、地元アスパラを利用した特産品開発に着手し、来年4月販売を目指しております。

本町の観光並びに地域活性化に向け鋭意努力致しているところでありますので本取り組みに対しましても特段のご配慮を併せて要望する次第であります。

#### 7 都市基盤整備事業の推進について

##### 理 由

本町の都市基盤整備並びに交通安全等の観点から、次の事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 花見橋との連結道路網の整備促進（特に交通安全の観点から）

(2) 国道の整備促進

- ①「美禽橋並びに美幌橋の架け替え」
- ②「国道334号線美斜線」
- ③「国道243号線基点の交差点改良」
- ④「案内標識看板の改良」

(3) 高規格幹線道路（北見市－高野、女満別空港－網走）の整備促進

(4) 道東縦貫道路（美幌－標茶）の計画路線への早期昇格への促進

(5) 道々の整備促進

- ①「駅前停車場線の改良」

(6) 町道1号線と国道240号線の交換変更

(7) 町道280号及び252号の改良について

- ①通称：緑園通りにおける北1丁目から北2丁目間の街路樹及び植樹帯の撤去によりイベント広場としての整備

(8) 歩道の整備（国道・町道）

- ①バリアフリー化、植栽の整備、改築工事、街路灯・防犯等の整備

(9) 公共交通機関のアクセス網の促進

- ①女満別空港発着バス的美幌乗り入れについて
- ②都市間バス対策について

8 公共施設の建設・利活用並びに民間を含めた検討委員会の設置について  
理 由

様々な公共施設が、本庁舎を含めて老朽化していると思われませんが、町民の利便性に配慮し機能を連携させ、生活弱者や高齢者にやさしく暮らしやすい生活環境が提供できるような公共施設に向けて、財政環境が厳しい中ではありますが一日でも早く民間との共同による建設検討委員会の設置と現在の公共施設の利活用についての利活用検討委員会の設置を次の事項について特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

- (1) 美幌みどりの村周辺の植栽化とリリー山を活かした観光活性化について
- (2) 他の老朽化した建物の検討

9 美幌高等学校の学習環境等の充実整備促進について  
理 由

美幌高校は、普通科と専門学科が併設する高校として特徴ある高校づくりを進めており、国公立大学へ進学される生徒を輩出する一方で、日本農業クラブ全国大会優勝など数々の優秀な成績を収めており、美幌町の名を全国に知らしめているところでもあります。

そうした中で、今後も美幌町の次代を担う人材育成に向け美幌町に相応しい高等学校となるよう学習環境等の更なる充実と今後の少子化傾向に向けての生徒募集対策、さらに寮や下宿等町外からの生徒に対する補助制度新設に美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。併せて、現在美高ショップ「白樺坂」は、町民に大いに利用されているところですが、場所の問題でなかなか足を運べない状況にもあります。

27年度におきましても26年度同様に、高齢者等に配慮しつつ中心市街地の活性化向上と、空き店舗を活用した事業展開について美幌町の特段のご配慮を要望致します。



## 10 美幌町への移住・定住の積極的推進について

### 理 由

北海道内で、団塊世代を中心とした移住の受け入れに積極的な市町村が、「北海道移住促進協議会」を設立し、北海道の魅力発信や移住体験の場を提供するほか、移住相談窓口を設置しており、美幌町におかれましても移住相談ワンストップ窓口の設置、インターネットによる情報提供がなされておりますが、今後も興味のある方々のニーズを把握し、移住・定住に対し積極的な施策に取り組むよう特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

また、今後の美幌町を担うであろう若者の定住促進と住宅投資を促す意味でも、地元企業への発注による住宅建設に対し持家建設奨励金等の制度の新設を併せて要望する次第であります。

## 11 中心市街地活性化基本計画（TMO構想）計画事業の支援方要望について

### 理 由

中心市街地の活性化取り組みについては、旧法で町に認定を受けた TMO 構想事業が、平成18年6月の法改正により事業手法を再開発事業として公共施設（文化ホール機能）を取り入れた「にぎわいの駅整備事業」構想として平成20年2月にまとめあげました。その後、文化ホールの設置については諸般の事情により、他の公共施設へ変更することとなり、種々検討を行なってきたところではありますが、平成24年3月にいったんリセットをさせていただいたところでもあります。

しかし中心市街地の活性化は、単に商店街を活性化することではなく、まち全体のコンパクトなまちづくりを進めるマスタープランのもと、居住、公益施設、交通などの要素を中心に、生活拠点として総合的に中心市街地のまちづくりを進めることであることから、今後もまちづくりに向け検討して行く所存でありますので次の事項につきまして美幌町の特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

加えて、数年来の懇談会等のやり取りの中で、町側から逆提案があるような発言もあったかと存じますので、その辺の提案項目等宜しくお願い申し上げます。

- (1) にぎわいの駅整備事業への支援
  - ・「道の駅」開設について
- (2) 空き店舗活用事業の支援
- (3) 空き店舗解体に伴う補助制度の創設
- (4) 店舗リフォームに対する補助制度の創設

## 12 ケア付き福祉公営住宅の建設について

### 理 由

美幌町には知的・精神障害者（児）等が相当数在住、その親族も高齢化に伴い親亡き後の当事者たちの地域生活支援について、平成18年2月公営住宅法施行令の一部を改正する政令により公営住宅の単身入居が認められるようになりましたが、単身で生活できないケースも多々あります。

ついては、美幌町の将来に向けての福祉を中心とした街づくり並びに移住・定住にも繋がることとなると思いますので、そうした単身で生活できない知的・精神障害者（児）等に対する、ケア付き福祉公営住宅の建設に美幌町の特段のご配慮を要望する次第であります。

### 1 3 介護支援者の人材育成並びに教育環境の対応について

#### 理 由

医療技術の進歩や設備の充実により、国民の平均寿命は増加の傾向にあります。平均寿命が延びることは良いことですが、高齢者にとって老化に伴う体力の低下は免れず、介護サービスの需要は増加の一途であります。

2000年に介護保険制度を導入し、それまで行政が行っていた社会福祉事業を民間で行えることとなり、今では美幌町でも豊富な介護・福祉サービスの提供が可能となっています。

しかし、実際には現場で働く介護者が不足しているのが実情であり、そのため介護者1人当たりの仕事量が多く、体力的な理由で離職をせざるを得ない、また仕事と報酬のギャップに悩まされてやむなく転職に至るといったケースも多いようです。

さらには、事業所・施設によっては、約3年で人が入れかわるといった状況もまれではなく、今では介護職につこうとしている人自体減少傾向にあるようです。

本来、介護者が心身ともにもっと余裕を持って介護に携わり、よりよいサービスを提供することにより、介護を受ける高齢者が少しでも多くの喜びを得ることができる社会こそが本来あるべき姿だと考えますので、介護支援者の人材育成と教育施設の設置に向け引き続き美幌町の特段のご配慮を賜りますよう要望する次第であります。

### 1 4 起業者への補助制度の創設について

#### 理 由

本町の産業振興及び活性化、雇用の促進を図るだろう起業家が、移住・定住し本町において新しく起業する者に対する支援策として、補助制度の創設を要望する次第であります。

## ○陸上自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備並びに教育訓練施設の整備等について

(陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会)

陸上自衛隊におかれましては、我が国の平和と独立のため、国土防衛、災害救助、更には国連平和維持活動等の崇高な任務に日夜ご精励されておりますことに、心から敬意を表します。美幌駐屯部隊におかれましても、屈指の精鋭部隊として道東防衛の任務を果たされるとともに、隊区内2市8町の災害時における出動あるいは諸行事に積極的にご支援頂いておりますことに、心より感謝を申し上げます。

美幌町は、美幌駐屯地創設以来63年の永きにわたり、町民一丸となって駐屯地の協調を図り、防衛意識の高揚を図るとともに入隊者の激励や退官者の地元就職希望者100%受入れ等の努力をし、地域住民挙げて力強くお支えしているところであります。

平成25年に閣議決定された「平成26年度以降に係わる防衛計画の大綱」では、良好な訓練環境など、北海道地域の特性等を理解していただいていると受け止め、美幌駐屯地の維持継続は確保されるものと考えております。今後の中期防衛力整備計画の見直しや次期中期防衛力整備計画の策定においては、美幌駐屯地における部隊体制の充実強化に特段の配慮を賜ります様要望致します。自衛隊は国際貢献活動や大規模災害派遣などに的確に、対応してまいりましたが、今後もこうした活動を継続し充実するためには、全国有数の矢臼別演習場、然別演習場での訓練はもとより両演習場と近距離にある美幌町を拠点に、地域を効率的に活用できるこの地に新たな部隊を配置することが望ましいと考えます。

また、国土防衛と地域の安全と安心を守るため、新しい装備を持つ部隊の配置に加え、教育訓練施設を美幌町に配置するなど、美幌駐屯部隊の充実整備と体制強化について、次のとおり強く要望致します。

## 記

- 1 新編部隊（施設科）の配置及び特科隊の配置について
- 2 203mm自走榴弾砲後継火砲の早期導入について
- 3 保養施設を兼ね備えた教育訓練施設の整備について
- 4 駐屯地と地域コミュニティーとの連携に関する事項について

### (3) 調査研究

#### A 従業員勤続年数調査

調査月日 平成26年10月1日～10月25日

調査内容 商工従業員勤続表彰のため

#### B 景気動向調査

調査年月日 6・9・12・3月（四半期毎）

調査方法 小売・卸売・建設・製造・サービス業の5業種の内、予め選定した企業100社に対し、四半期毎に調査を行なった。

### (4) 広報

#### A 定期刊行

商工びほろ（年6回 美幌新聞「みつめて」に掲載）

#### B 不定期刊行

中小企業相談所だより

#### C その他

中小企業融資制度のしおり・施策普及啓蒙ボールペン・メモ帳・ファイル

### (5) 証明・鑑定・検査

#### A 証明

貿易関係・国内取引関係証明 該当なし

営業証明 20件

#### B 鑑定 該当なし

#### C 検査 該当なし

### (6) 各種行事

#### A 講師の派遣

<国家公務員初任行政研修地方自治体実地体験>

日時 平成26年6月3日

テーマ 地域活性化について

派遣講師 専務理事 佐藤 隆

対象者 国家公務員初任 3名

#### B 行事

##### a 美幌商工会議所商工従業員表彰式

日時 平成26年11月20日

会場 美幌経済センター

被表彰者 表彰・受賞の項参照

##### b 協賛行事

###### 1. 美幌観光和牛まつり支援

日時 平成26年7月20日

会場 網走川河畔公園

2. びほろ冬まつり支援（吹雪にて中止）

日 時 平成27年2月1日

場 所 旧家畜センター跡

C 研修派遣

①日 時 平成26年7月2日～4日

会 場 旭川市

受講者 経営指導員 深 田 裕 二

内 容 資金繰り相談の実務

②日 時 平成26年9月3日～5日

会 場 旭川市

受講者 経営指導員補 伊 藤 健 一

内 容 観光資源による地域活性化手法

③日 時 平成26年9月17日～19日

会 場 旭川市

受講者 経営指導員 河 野 聡

内 容 事業承継支援研修

(7) 技術技能の普及検定

A 検 定

a 簿 記

回 次	実施月日	人数	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
第 137 回	6 月 8 日	受験者数	—	—	1	—	1
		合格者数	—	—	1	—	1
第 138 回	1 1 月 1 6 日	受験者数	—	2	1	—	3
		合格者数	—	0	1	—	1
第 139 回	2 月 2 2 日	受験者数	—	2	—	—	2
		合格者数	—	1	—	—	1

b ワープロ

該 当 な し

c 北海道観光マスター

平成26年11月23日実施

受験者数 3名 合格者数 2名

B 競 技 会

該 当 な し

(8) 取引紹介（照会を含む）斡旋

国 内 取 引

文章によるもの 0 件

電話によるもの 0 件

窓口によるもの 0 件

(9) 取引紛争の調査、仲裁 0 件

(10) 求人活動の相談指導

会員事業所の新規学卒求人対策として相談窓口となり、一括求人活動を行った。

(11) 経営改善普及事業

A 巡回、窓口、相談事業

イ. 経営指導員の設置月数及び稼働日数 36ヶ月 665日

ロ. 巡回による相談及び指導日数 137日

ハ. 相談及び指導の内容及び件数

相談指導内容	巡回	窓口(電話を含む)
経営革新	0	0
経営一般	78	82
情報化	342	126
金融	71	112
税務	146	133
労働	167	180
取引	0	0
創業	0	8
環境対策	0	0
その他	397	18
合計	1,201	659

B 講習会等の開催による指導

イ. 集団指導

開催年月日	講題または指導内容	講師の職業及び氏名	回数	人数
H26.10.24	消費税増税・事前対策 セミナー	税理士 菅原雅之	1	3
H26.10.30	消費税増税・事前対策 セミナー	税理士 菅原雅之	1	6
H26.11.6	地域ブランドと商標について	特許庁産業財産権 専門官 鹿兒島直人	1	4
H26.11.6	知的総合支援窓口について	北海道経済産業局知財総合支援 窓口担当 山内陽子	1	4
H27.3.27	接遇&マナー研修	(有)エスパスマナーアカデミー インストラクター 小泉笑美子	1	6
集団指導		計	5	23

ロ. 個別指導

開催年月日	講題または指導内容	講師の職業及び氏名	回数	人数	
H27.2.25	事業承継 個別相談	中小機構北海道本部 事業継承コーディネーター 小川孝二	1	5	
H27.2.26 ～ H27.2.27	決算個別指導	経営指導員 横山清美 深田裕二 河野聡	2	12	
H27.3.13	消費税個別指導	税理士 菅原雅之	1	11	
個別指導			計	4	28

Ｃ 金融の斡旋

		斡旋延べ 件数 (件)	貸付決定 件数 (件)	斡旋総額 (千円)	貸付決定 総額 (千円)
国金融 生公 活庫	一般・特別	3	3	8,500	8,500
	マル経資金	6	5	55,200	49,700
	計	9	8	63,700	58,200
その他	道制度融資	6	6	53,900	52,900
	市町村制度融資	103	103	877,860	877,860
	その他金融機関	-	-	-	-
	計	109	109	931,760	930,760
合計		118	117	995,460	988,960

Ｄ 社会保険等の事務代行

労働保険	事業所数	従業員数	
	83	328	
各種共済加入者	小規模共済	倒産防止共済	中退金共済
	236	17	195

(12) 受託事業

小規模企業共済  
中小企業倒産防止共済  
中小企業退職金共済  
労働保険事務組合

中小企業基盤整備機構

〃

勤労者退職金共済機構

労働基準局・北海道商工労働観光部



## 8. 登 録

### (1) 法 定 台 帳

商取引紹介（照会）斡旋に活用した。

- ・作成（又は訂正）年月日 平成26年4月1日～平成26年9月30日
- ・登録業者数 296名

## 9. 会 館 ・ 事 務 所 等

### (1) 土 地

※ 美幌経済センター敷地地積	1,768.04 m <sup>2</sup>
① 美幌町有地 無償借受使用	927.23 m <sup>2</sup>
所 在 美幌町字仲町1丁目44番1	
② 美幌商工会議所所有地	840.81 m <sup>2</sup>
所 在 美幌町字仲町1丁目44番2	(495.06 m <sup>2</sup> )
所 在 美幌町字仲町1丁目1番1	(337.26 m <sup>2</sup> )
所 在 美幌町字仲町1丁目85番2	(8.49 m <sup>2</sup> )
※ 美幌峠売店休憩地地積	738 m <sup>2</sup>
国 有 地 網走営林署より有償借受け	
所 在 美幌町字古梅国有林網走事業区27林班ちりヲ小班	

### (2) 建 物

美幌商工会議所の所有する主たる建物及び物件

#### ◎ 美幌経済センター

RC造（一部SRC造） 3階建

1階 450.78 m<sup>2</sup>（内 町所有 297.16 m<sup>2</sup>、会議所所有

93.07 m<sup>2</sup>、共有 60.55 m<sup>2</sup>）

2階 424.87 m<sup>2</sup>

3階 450.24 m<sup>2</sup> PH階 27.25 m<sup>2</sup>

合 計 1,353.14 m<sup>2</sup>

#### ◎ 美幌峠レストハウス

鉄骨造 2階建

1階 560.20 m<sup>2</sup>

2階 523.65 m<sup>2</sup>（内 町所有 488.62 m<sup>2</sup>／会議所所有 35.03 m<sup>2</sup>）

合 計 1,083.85 m<sup>2</sup>

### (3) 施 設

#### ◎ 美幌経済センター

美幌商工会議所の所有する経済センターを本町産業経済の発展並びに社会福祉のため、適当と認める集会行事に対し、美幌経済センター運営規程に基づき貸与した。



◎ 美幌経済センター会議室使用状況

平成26年4月1日～平成27年3月31日

( )内は25年度

月	第2研修室 役員室	大会議室A	大会議室B	大会議室	合計
4	7 (6)	0 (0)	2 (3)	0 (1)	9 (10)
5	10 (8)	2 (1)	6 (5)	0 (0)	18 (14)
6	15 (7)	0 (1)	3 (2)	1 (1)	19 (11)
7	8 (9)	0 (0)	4 (1)	2 (2)	14 (12)
8	2 (5)	0 (0)	1 (2)	0 (1)	3 (8)
9	4 (5)	0 (0)	5 (4)	0 (2)	9 (13)
10	10 (15)	0 (1)	3 (5)	0 (0)	13 (20)
11	14 (9)	1 (0)	4 (2)	1 (4)	20 (15)
12	7 (2)	0 (0)	3 (1)	2 (1)	12 (4)
1	5 (2)	0 (0)	4 (2)	2 (1)	11 (5)
2	11 (7)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	16 (8)
3	10 (9)	1 (0)	4 (2)	1 (2)	16 (13)
合計	103 (84)	4 (4)	44 (30)	9 (15)	160 (133)

◎ 貸室3室

美幌建設業協会 / 美幌ロータリークラブ

(同) びほろ笑顔プロジェクト

◎ 美幌峠売店施設 ( 株美幌峠物産館 )

## 10. 関係団体への加入及び連携

### (1) 日本商工会議所

#### イ 所属委員会

- ・観光委員会 委 員
- ・地域活性化委員会 委 員

### (2) 北海道商工会議所連合会

#### イ 所属委員会

- ・観光振興委員会 副委員長
- ・地域開発委員会 委 員
- ・地域主権推進特別委員会 委 員

#### ロ 会議等出席

会 議 名	月 日	出 席 者	場 所
東北海道商工会議所専務理事・事務局長会議	4. 4	横山次長	帯広市
オホーツク管内会頭会議	4. 24	会 頭 他	北見市
東北海道商工会議所会頭会議	5. 9	会 頭 他	帯広市
全道商工会議所専務理事会議	5. 20	専務理事	札幌市
北海道商工会議所連合会通常会員総会	6. 9	専務理事	札幌市
東北海道商工会議所要望活動	6. 10	専務理事	札幌市
オホーツク管内会頭会議	6. 28	会 頭	札幌市
東北海道商工会議所事務局長会議	8. 19	横山次長	遠軽町
全道商工会議所専務理事会議	8. 21	専務理事	稚内市
商工会議所青年部北海道ブロック会議	8. 30	伊藤補佐	美唄市
北海道・東北商工会議所連絡会議	9. 3	会 頭 他	小樽市
北海道商工会議所連合会合同委員会	9. 3	会 頭	小樽市
オホーツク管内会頭会議	10. 10	会 頭 他	網走市
全道商工会議所事務局長会議	10. 20	横山次長	札幌市
東北海道商工会議所専務理事・事務局長会議	10. 29	横山次長	釧路市
北海道商工会議所連合会戦略ビジョン合同部会	11. 5	会 頭	札幌市
中小企業相談所長会議	1. 27	深田課長	札幌市
オホーツク管内専務理事・事務局長会議	1. 30	横山次長	温根湯
北海道商工会議所連合会会員総会	3. 6	会 頭	札幌市

#### ハ 大会・協議会等

##### ・第64回全道商工会議所大会

日 時 平成26年6月28日

場 所 網走市

出席者 会 頭 若 林 輝 彦  
 副 会 頭 山 本 和 則・久 山 邦 徳  
 専務理事 佐 藤 隆  
 常 議 員 後 藤 哲 也・長 岡 敬 幸・宮 田 博 行  
 田 村 博 昭・吉 江 仁  
 監 事 石 澤 信 勝  
 議 員 橋 一 幸・上 西 惠  
 事務局次長 横 山 清 美

・第94回東北海道商工会議所連絡協議会

日 時 平成26年5月9日

場 所 帯広市

出席者 会 頭 若 林 輝 彦  
副 会 頭 久 山 邦 徳  
専務理事 佐 藤 隆  
監 事 石 澤 信 勝  
事務局次長 横 山 清 美  
総務係長 河 野 聡

(3) その他の団体

北海道中小企業総合支援センター  
中小企業オホーツク公和会  
網走管内職業能力開発協会  
美幌町防火管理連絡協議会  
北海道火災共済協同組合  
北海道中小企業共済協同組合  
北見職安管内労働保険事務組合連合会  
北海道社会保険協会北見支部  
北海道ILO協会北見地方支部  
網走地方職業病防止対策連絡協議会  
美幌観光物産協会  
北見電信電話ユーザー協会  
美幌地区危険物安全協会  
美幌地区交通安全協会  
エイチ・イー・エス推進機構  
北見工業大学地域共同研究センター  
東京農業大学生物産業学部協力会  
エア・ドゥオオホーツク友の会  
オホーツク物産振興協議会  
ベストウイズクラブ  
北方圏センター

(4) 町内下記団体の事務代行若しくは、その指導及び事業に協力した。

(公社) 網走地方法人会美幌支部  
美幌青色申告会  
美幌町連合商店会  
美幌自衛隊退職者雇用協議会  
美幌警察官友の会  
(協) スマッピーカードびほろ  
(同) びほろ笑顔プロジェクト  
(同) びほろ宅配・便利サービスプロジェクト

## (5) 諸会議等の出席

会議等名称	月 日	出席者	場 所
美幌駐屯地充実整備期成会役員会	4. 2	会頭	しゃきっとプラザ
東京美幌会	4. 5	会頭	東京
美幌駐屯地入隊式	4. 6	久山副会頭	駐屯地
美幌駐屯地充実整備期成会総会	4. 8	会頭	町民会館
美幌地方自衛隊協力会役員会・総会	4. 9	会頭他	美幌駐屯地
みどり就労センター監査会	4.1 0	専務理事	就労センター
共済担当者会議	4.1 1	河野係長	北見市
美幌高等職業訓練校修了式・入校式	4.1 1	横山次長	職訓校
隊友会美幌支部懇親会	4.1 3	会頭	グランドホテル
みどり就労センター理事会	4.1 7	専務理事	就労センター
商店街活性化事業打合せ	4.1 8	深田課長	当所
美幌駐屯地追悼式・記念式典	4.2 0	会頭	駐屯地
障がい福祉懇話会	4.2 2	横山次長	しゃきっとプラザ
スマッピーカードびほろ理事会	4.2 3	深田課長	組合事務所
美幌観光協会理事会・総会	4.2 5	専務理事	グランドホテル
網走地方法人会美幌支部役員会	5.1 3	専務理事他	当所
オホーツク管内経営指導員連絡協議会	5.1 4	深田課長	北見市
観光振興定例会議	5.2 0	横山次長	役場別館
網走地方法人会美幌支部総会	5.2 2	専務理事他	当所
ニュージーランド訪問事前打ち合わせ	5.2 3	会頭	しゃきっとプラザ
生き生き商店街総会	5.2 3	深田課長	割烹田村
美幌峠まつり	5.2 5	会頭他	美幌峠
網走地方法人会定時総会	5.2 6	横山次長	網走市
美幌自衛隊退職者雇用協議会総会	5.2 7	会頭他	当所
美幌警察官友の会役員会・総会	5.2 7	会頭他	当所
美幌町連合商店会役員会	5.2 8	専務理事他	当所
買い物支援協議会設立総会	5.2 8	横山次長	当所
みどりの村振興公社理事会	5.2 8	専務理事	みどりの村
青色申告会連合会総会	5.2 8	河野係長	網走市
青少年育成協議会総会	5.2 9	専務理事	マナセン
女満別空港ビル監査役会	6. 4	会頭	大空町
女満別空港利用拡大協議会幹事会	6. 4	横山次長	大空町
美幌青色申告会役員会・総会	6. 5	横山次長他	当所
自民党 12 選挙区セミナー	6. 7	山本副会頭	北見市
雇用対策推進会議	6.1 7	専務理事	北見市
エア・ドゥオホーツク友の会総会	6.1 8	専務理事	網走市
美幌駐屯地修了式	6.2 2	会頭	美幌駐屯地
女満別空港ビル株主総会	6.2 6	会頭	大空町
美幌観光和牛まつり実行委員会	7. 1	横山次長	町民会館
観光振興定例会議	7. 2	横山次長	役場別館
美幌駐屯地充実整備期成会総会	7. 3	会頭	しゃきっとプラザ
ニュージーランド訪問帰町報告会	7. 4	会頭	しゃきっとぷらざ
さっぽろ美幌会	7. 6	久山副会頭	札幌市
新エネルギー導入推進委員会	7.1 0	専務理事	しゃきっとプラザ
労働保険北見地区役員会・総会	7.1 1	専務理事	北見市

海上自衛隊コンサート	7.1 3	久山副会頭	びほーる
第1特科群長表敬	7.1 4	会頭	町応接室
第1特科群持続走懇親会	7.1 5	会頭	陸上競技場
美幌町特別職報酬等審議会	7.1 8	会頭	しゃきっとプラザ
支援ネットワーク会議	7.2 3	深田課長	網走市
美幌北療祭	7.2 7	会頭	療育病院
地域支援連携会議	7.2 8	伊藤課長補佐	北見市
町民と体育を語る夕べ	8. 1	会頭	グランドホテル
びほろ生き活き商店街誕生祭	8. 2	深田課長	北洋駐車場
美幌デュアスロン大会レセプション	8.1 6	会頭	グランドホテル
スマッピーカードびほろ理事会	8.2 1	深田課長	組合事務所
みどりの村ふれあい祭り実行委員会	8.2 6	専務理事	みどりの村
美幌町観光物産振興推進定例会議	8.2 6	横山次長	役場別館
びほろ生き活き商店街誕生祭反省会	8.2 6	深田課長	加賀屋
網走地方法人会美幌支部役員会	8.2 7	専務理事他	当所
障がい福祉懇話会	8.2 8	横山次長	しゃきっとプラザ
東京美幌会懇談会	9. 3	横山次長	割烹田村
共済担当者会議	9. 8	河野係長	紋別市
法人会全道大会	9.1 8	横山次長	旭川市
美幌町地域福祉策定委員会	9.1 9	専務理事	しゃきっとプラザ
女満別空港ビル取締役会	9.2 2	会頭	空港ビル
美幌町観光物産振興推進定例会議	9.2 5	横山次長	美幌峠
美幌町総合計画審議会	10. 1	会頭	しゃきっとプラザ
自民党12選挙区移動政調会	10.1 1	会頭	北見市
農業クラブ全国大会壮行会	10.1 4	横山次長	しゃきっとプラザ
美幌町観光物産振興推進定例会議	10.1 6	横山次長	美幌峠
オホーツク管内経営指導員連絡協議会	10.2 2	深田課長	留辺蘂
みどりの村振興公社理事会	10.3 0	専務理事	みどりの村
地域プラットホーム会議	10.3 0	深田課長	網走市
美幌町特別職報酬等審議会	10.3 1	会頭	町応接室
農業クラブ婦町報告会	11. 6	横山次長	しゃきっとプラザ
みどり就労センター理事会	11.1 3	専務理事	就労センター
隊友会道東研修懇親会	11.1 5	会頭	グランドホテル
駐屯地充実整備期成会役員会	11.1 7	会頭	しゃきっとプラザ
美幌町観光物産振興推進定例会議	11.1 8	横山次長	役場別館
ハーモニーの会	11.2 1	久山副会頭	割烹田村
女満別空港ビル監査役会	11.2 5	会頭	空港ビル
冬まつり実行委員会	11.2 5	河野係長	役場
まちづくり事業説明会	11.2 6	深田課長	札幌市
防衛省東京美幌会	11.2 9	会頭	東京
美幌高校学校評議員会	12. 2	専務理事	美幌高校
女満別空港ビル取締役会	12. 3	会頭	グランドホテル
まちゼミ実践セミナー	12.1 1	深田課長	北見市
歳末警戒激励慰問	12.1 5	会頭	美幌警察署
美幌町観光物産振興推進定例会議	12.1 8	横山次長	役場別館
美幌町融資制度打合せ	12.1 9	横山次長他	当所
南スーダン帰国行事	12.2 3	会頭	美幌駐屯地

美幌町特別職報酬等審議会	1 2.2 9	会頭	しゃきっとプラザ
除夜祭及び元日祭	1. 1	会頭他	美幌神社
初日の出を見る会	1. 1	横山次長	美幌峠
美幌町民新年交礼パーティ	1. 5	会頭他	グランドホテル
ロータリークラブ家族例会	1. 8	会頭	グランドホテル
美幌建設業協会新年交礼会	1. 9	会頭	グランドホテル
成人の集い	1.1 1	会頭	びほーる
美幌駐屯地成人祝賀会	1.1 3	会頭	美幌駐屯地他
オホーツク管内経営指導員連絡協議会	1.1 5	深田課長他	当所
高橋文明新春の集い	1.1 7	会頭他	グランドホテル
自治会連合会新年交礼会	1.2 0	会頭	グランドホテル
美幌町連合商店会正副会長会議	1.2 0	横山次長他	当所
美幌町観光物産振興推進定例会議	1.2 2	横山次長	役場別館
税務指導所事務連絡会議	1.2 2	伊藤課長補佐	網走市
生き生き商店街新年会	1.2 2	深田課長	割烹田村
自衛隊父兄会美幌地区懇親会	1.2 5	会頭	町民会館
美幌町特別職報酬等審議会	2. 6	会頭	しゃきっとプラザ
鈴木宗男新春交礼会	2.1 1	横山次長	グランドホテル
スマッピーカードびほろ理事会	2.1 7	深田課長	組合事務所
美幌観光和牛まつり実行委員会	2.1 8	横山次長	役場別館
美幌町特別職報酬等審議会	2.2 0	会頭	町応接室
ハーモニーの会	2.2 0	会頭	みはる
自衛隊入隊予定者をはげます会	2.2 1	会頭	大空町
美幌町観光物産振興推進定例会議	2.2 4	横山次長	役場別館
スマッピーカードびほろ通常総会	2.2 7	深田課長	当所
冬まつり開催検討委員会	3. 4	河野係長	役場別館
障がい福祉懇話会	3. 5	横山次長	しゃきっとプラザ
安心安全を語る会	3.1 7	会頭	グランドホテル
オホーツク食品開発フェア	3.1 9	伊藤課長補佐	北見市
高橋知事道政報告会	3.2 3	会頭他	グランドホテル
美幌町観光物産振興推進定例会議	3.2 6	横山次長	ぽっぼ屋
美幌駐屯地副連隊長着任挨拶	3.2 6	会頭他	町応接室
町融資打ち合わせ会議	3.2 7	横山次長他	当所
刑務所出所者等就労支援事業	3.2 7	久山副会頭他	当所
101大隊長着任挨拶	3.2 7	会頭他	しゃきっとプラザ
みどりの村振興公社理事会	3.3 0	横山次長	みどりの村
美幌駐屯地副連隊長着任挨拶	3.3 0	会頭	町応接室

## 11. そ の 他

(1) 人 口 20,608人 (平成27年3月31日現在)

(2) 商工業者 941事業所 (事業所統計)

(3) 小規模事業者数 670事業所 (事業所統計)